子どもの発達支援ガイドブック

てとて

和歌山市

～～はじめに～～

和歌山市では、「みんなで子育て　子どもが健やかにきらきらと育つまち　和歌山市」を基本理念とする、和歌山市子ども・子育て支援事業計画を策定し、「みんなで子育て」をサポートし、住みやすいまち、住んでよかったまちを目指して様々な施策に取り組んでいます。

「子どもの発達支援ガイドブック　てとて」は、子どもの発育や発達に不安を感じた時、子育てに行き詰まった時など、子育て中の方が相談できる場所や専門的な医療、アドバイスを受けることのできる施設、団体等の情報を掲載しています。

子育てには、多くの人の手助けが必要です。本ガイドブックを活用していただくことで、子育てに対する不安を少しでも解消し、和歌山市で楽しみながら子育てしていただけることを願っております。

平成28年３月

和歌山市長　尾花　正啓

もくじ

はじめに …… P1

P4～ 出かけてみませんか?

保健センター …… P4
つどいの広場 …… P5
地域子育て支援センター …… P6
きょう育の和センター …… P6
そのほかのお出かけ先 …… P7

P10～ 気になることを相談したい

子どもの成長で気になることがある、発達が気がかり…という時に相談できる窓口や専門機関です

相談機関
保健センター …… P10
マンガ「親子教室へ ～我が家の場合」…… P12
その他の相談先
和歌山市こども総合支援センター …… P13
和歌山県立医科大学小児成育医療支援室 …… P13
和歌山県子ども・女性・障害者相談センター …… P14
子どもと家庭のテレフォン110番 …… P14
和歌山県発達障害者支援センターポラリス …… P15
和歌山児童家庭支援センターきずな …… P16
和歌山県教育センター学びの丘教育相談室 …… P16
和歌山市における早期療育支援の流れ …… P17
「ひとりじゃないよ」先輩ママからのメッセージ …… P18
マンガ「自閉症って何？」…… P20

P22～ 就園前の早期療育支援
乳幼児期は心の根っこを大事に……P24

P25～ 就園に向けて

幼稚園・保育所のこと …… P25
児童発達支援センター …… P26
「一生懸命生きる」先輩パパからのメッセージ …… P31

P32～ 就学について

就学相談 …… P32
子どもと学校 …… P36
特別支援学校 …… P37
インクルーシブ教育ってなに？ …… P42

園や学校以外の療育を目的とした場所を紹介しています。

P43～

児童発達支援事業 …… P43
放課後等デイサービス …… P45
保育所等訪問支援事業所 …… P47
相談支援事業所 …… P48
Book review「自閉症の僕が跳びはねる理由」…… P50

P51～ 余暇活動

P58～ 医療機関

和歌山市の医療機関 …… P58
リハビリテーションとは …… P59
海南・岩出・紀の川市の医療機関 …… P62
小児科医師の立場から …… P64
歯科 …… P66
発達障がい児の歯科治療 …… P67
耳鼻咽喉科 …… P68
受診するとき …… P69

P70～ 親の会

親の会 …… P70
てぃーだちゃいるど …… P74
Book review「ダウン症の娘はフラガール」… P75
障がいを持つ子どものきょうだい …… P76

P78～ 福祉制度

福祉制度 …… P78
手帳のこと …… P79
手帳について …… P80
その他の児童福祉施設について …… P81

さくいん …… P82
編集後記 …… P85
ささえるしくみ …… P86
地図 …… P87

出かけてみませんか？

子どもたちが安心して遊ぶことができて
ママ同士もゆっくりおしゃべりできる
心配なことや不安なことを何でも相談できる場所を紹介します。

保健センター

地域の保健センターにはそれぞれの地区を担当する保健師がいます。各保健センターでは０歳児とその保育者のための交流会や相談を行っています。
（参加するためには申し込みが必要です）
また子どもが健やかに育つためにさまざまなサポートがあります。近くの保健センターを利用してみましょう。

にこにこ相談室

２か月に１回　育児相談、体重測定、リズム遊び、交流会等を行っています。
■場所＝西保健センター（和歌山市松江東3-2-63）
■対象＝０歳児とその保育者
■問い合わせ＝☎073-455-4181

ほっと広場

毎月１回、育児相談・体重測定・交流会等を行っています。
（偶数月は保育士によるリズム遊びもあります）
■場所＝中保健センター（和歌山市吹上5-2-15）
■対象＝　奇数月　０歳児とその保育者
　　偶数月　生後６か月～１歳未満児とその保育者
■問い合わせ＝☎073-488-5122

すくすくルーム

２か月に１回、育児・栄養相談、身体計測、手遊びと絵本の読み聞かせ、交流会等を行っています。
■場所＝南保健センター（和歌山市田尻493-1）
■対象＝０歳児とその保育者
■問い合わせ＝☎073-499-5566

さんさん広場

２か月に１回、育児相談と体重測定、交流会や手遊びなどを行っています。
■場所＝北保健センター（和歌山市直川326-7）
■対象＝０歳児とその保育者
■問い合わせ＝☎073-464-5051

つどいの広場
（地域子育て支援拠点事業）

乳幼児期の親子が自由に利用できます。
予約はいりません。
開設時間内ならいつ来てもいつ帰ってもOKです。
先輩ママが子育てアドバイザーとして常駐しています。
いずれも利用は無料ですが、それぞれ年間保険料が必要です。

キッズステーション（特定非営利活動法人　子どもNPO和歌山県センター）
和歌山市匠町29（中ぶらくり丁）　☎073-402-0727
blog.goo.ne.jp/kodomonpowakayamakensenta
開設時間　午前11時～午後４時（火・土休み）

ほっとルームぐるんぱ（特定非営利活動法人　きのくに子どもNPO）
和歌山市福島487ルミノーゾふるい１F　☎073-452-2303
http://homepage2.nifty.com/kinokuni-kodomo/gurunpa.html
開設時間　午前10時～午後４時　日曜日は午後３時まで（金・土・祝・第５日休み）

もうひとつのさと「ポピンズ」（特定非営利活動法人　WACわかやま）
和歌山市西高松２丁目1-4　☎073-414-1189
http://www.jtw.zaq.ne.jp/cfare601/tudoinohiroba.html
開設時間　午前11時～午後４時（日・水・祝休み）

わかば♪（特定非営利活動法人　和歌山こどもの広場）
和歌山市美園町５丁目9-1（JR和歌山駅前美園商店街内）
☎073-428-2411
http://www.geocities.jp/wakaba_since2008/
開設時間　午前11時～午後４時（月・火休み）

ドレミひろば（特定非営利活動法人　ホッピング）
和歌山市田尻493-1（南保健センター併設）
☎073-488-6767
http://hoppingmama.com/free/doremi
開設時間　午前10時～午後３時（日・水・祝・第５土休み）

地域子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）

和歌山市では地域の遊びの広場として８ヶ所の保育所で子育て支援センターを設置しています。
０歳児からどのセンターでも利用でき、利用料は無料です。

さつきランド（さつきこども園内）	和歌山市中島70-8	☎073-473-2444 http://www.satsuki-hoikuen.jp
ようすいランド（ようすい子ども園内）	和歌山市西浜1218-3	☎073-445-6875 http://yousui-hoikuen.jp
すみれフレンド（すみれ保育園内）	和歌山市木ノ本321-2	☎073-455-6689 http://www.sumirehoikuen.or.jp
いさおKIDS（有功保育園内）	和歌山市園部1-1	☎073-464-4320 http://www.isao.hoikuen.to/
こうまなかよしランド（こうま保育園内）	和歌山市下三毛566	☎073-477-2310 http://www.koumahoikuen.jp
さかえKidsサポート（さかえ保育園内）	和歌山市狐島394	☎073-455-3336 http://sakae.hoikuen.to
しょうぶふれあい広場（しょうぶ保育園内）	和歌山市吉礼53-6	☎073-466-2556
なかのしま（中之島保育所内）	和歌山市中之島1496	☎073-422-8661

＊子育て相談　＊あそびの広場（室内開放）＊園庭開放　＊地域の公園での青空広場　＊子育てサークル支援　＊コミュニティセンターでのあかちゃんランドなどを行っています。
詳しくは各支援センターに問い合わせるか、無料配布されている予定表やHPなどでご確認ください。

和歌山信愛女子短期大学 きょう育の和センター

・屋内施設　ふれ愛ルーム「木のおうち」

明るくあたたかい雰囲気の遊び場です。木のぬくもりにふれ、親子で癒されながら楽しめる空間です。

・屋外施設　森の広場「のびのび」

大学内にある里山を利用した屋外施設。和歌山の自然の中で子ども達がのびのびとあそぶことができます。

開催日　月・水曜日（祝日除く）午前10時～午後３時
利用料　無料　駐車場あり
連絡先　和歌山市相坂702-2　☎073-479-1106
http://www.shinai-u.ac.jp/kyoikunowa/
e-mail　kosodate-coc@shinai-u.ac.jp

そのほかのお出かけ先

ばあばのいえ

和歌山市松江中１丁目8-13　☎073-455-3007（大野さん）
自宅を開放した親と子の自由な遊び場です。
毎週木曜日　午前９時～午後４時（祝日休み）
※場所がわからない時や初めて車で行く場合は電話で問い合わせを。

大野さんからのメッセージ
家庭で育児中のお母さん、お子さんと遊びに来ませんか？
公園等でまだ遊べない赤ちゃんもお越しください。
おもちゃやお砂場もあります。
第２の実家に帰った気持ちでお母さんもゆっくりしてくださいね。

きっず☆なごみ

看護師などが行っている子育て応援スペースです。
毎月第２木曜日　午前９時30分～11時30分
　　体重測定、参加者交流、育児相談
場所　和歌山生協病院敷地内　在宅総合ケアセンター（２Ｆ）
対象　未就園児とその保育者
参加費　無料（傷害保険はかかっていませんのでご了承ください）
〈問い合わせ〉わかやま子育てサポートネットワーク
　　☎073-447-2601（大越さん）

親と子の広場　アン・ポコ　つどい

子どもの発達に不安のあるお母さん、お父さんやゆっくり子どもを見守る場所がないと感じている保護者のみなさんが自由にあそびながらおしゃべりできる親子の居場所です。

日時　毎月第３水曜日　午前10時～11時45分
場所　和歌山市福島487 ルミノーゾふるい２F
〈問い合わせ〉080-5764-7322（ポコ）
　　e-mail　hiroba.poco@ezweb.ne.jp

おもちゃ図書館

発達障害や身体に障害のある子ども達のために、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ場、保護者の方の情報交換、リフレッシュの場を提供しています。
日時　毎月第４土曜日　午前９時30分から12時30分まで
場所　和歌山市ふれ愛センター（和歌山市木広町5丁目1-9）内
＜問い合わせ＞和歌山市社会福祉協議会　☎073-433-8866
利用料　無料
対象　原則として障害のある子どもとその兄弟姉妹（小学６年生まで）
初めて利用されるときは利用登録が必要です。（手帳の提示は不要）
保護者または付き添い人（成人）の同伴が必要です。

＜おもちゃの貸し出し＞
　対象者　　障害のある子どものみ
　貸出個数　１人２個まで　　貸出期間　次回開催日まで
　貸出料　　無料

ふぁんふぁん広場

未就園児とその母親が集まる場所で、親子で楽しめる空間、また情報交換、母親の力を発揮できる場所としての空間づくりを目指し活動しています。
※出入り自由、参加費　基本無料（イベント内容によっては、参加料が必要）
おもちゃを用意していますので、子どもさんを自由に遊ばせつつ、ママ達もゆっくりおしゃべりを楽しむことができます。
イベント等も随時開催しています。
■岩出市　紀の国住宅住まい館（※場所は変更される場合があります。）
　不定期開催。開催日時については、ふぁんふぁんブログでご確認下さい。
■貴志川保健福祉センター３Ｆいきいきルーム
　毎週月曜（祝日休み）午前10時～12時　開放

＜問い合わせ＞
メール：npofunfun@gmail.com
ブログ：http://oyakokuukanfunfun.blog.fc2.com/blog-entry-113.html?sp（ふぁんふぁんブログ）

ちゅちゅこっこ

ちゅちゅこっこって？
うちの子「ちょっと気になる…」、「目が離せない！」、「人には聞けない…」
漠然とした不安。抱えていませんか。誰にも言えず、悩んでいませんか。
ちゅちゅこっこは気軽におしゃべりできる場所です♪
キッズスペース＆おもちゃもあり！
コミュニケーションの輪を広げましょう（*^^*）
［開催日］
第１、２、３の金曜日　※H28.1～曜日変更予定。
時間：午前10時～12時
場所：上岩出コミュニティーセンター

＜問い合わせ＞
電話：090-3995-7919（小堀）
メール：mable-iki-iki@ezweb.ne.jp
ブログ：http://oyakokuukanfunfun.blog.fc2.com/blog-entry-113.html
?sp（ふぁんふぁんブログ）

イケラ子育てチーム

子育て中の親子対象の子育て支援サークルです。
子育て中であれば小学生以上の家族の参加も大歓迎♪
活動を応援してくれる大学生やご年配の方等も大募集。お気軽にご連絡くださいね。
主な内容…子連れ外遊び、楽しい講座、ママバンド活動、みんなでフリマ参加
等々
［開催日］
毎月２回、月・土曜
時間：午前10時～12時
場所：上岩出コミュニティーセンター他

＜問い合わせ＞
メール：doramatakozu@gmail.com
ブログ：http://ameblo.jp/ikera-kosodate/
（イケラ！子育てチームブログ）

気になることを相談したい

・ほかの子どもとどこか違う気がする　・落ち着きがなく動き回る
・友達とうまく遊べない　・ことばの遅れが気になる
・育てにくい　・子どもとうまく関われない
・普段の生活で悩んだり困ることがある

こんなとき発達のことが気にかかりますね。
発達についての心配は大きいものです。
乳幼児期から不安を感じている人もいるかもしれません。
でもどこに相談したらどこにつながっていくのか不安もありますね。
そんな時はここを開いてみてください。

保健センター

乳幼児期の子育てに関することや、お母さんに関することについて気になることがあったらまず保健センターに相談してください。地域の保健師が、子どもの健やかな成長をサポートしています。一人で悩まず、気軽に相談してください。

中保健センター	和歌山市吹上5-2-15	☎073-488-5122
西保健センター	和歌山市松江東3-2-63	☎073-455-4181
南保健センター	和歌山市田尻493-1	☎073-499-5566
北保健センター	和歌山市直川326-7	☎073-464-5051

＜乳幼児健診＞

健診は医師や保健師に子どもを診てもらえるいい機会です。
生後４か月、10か月、１歳６か月（１歳８か月時）、２歳６か月歯科健診、３歳（３歳６か月時）で無料で受けることができます。
不安なことわからないことなど気軽に相談してみましょう。
また同じ月齢の子どもが集まるのでほかのママと知り合うチャンスかも。

１歳６か月児健診

どんなことをするのか不安が大きいのが１歳６か月児健診ですね。
でも積み木を積めるか積めないか、指差しできるかできないかという一つの動作の出来、不出来を確認することが目的ではありません。
たとえば積めない場合にどういう遊びや経験を生活に取り入れると望ましいかなど、子どもの発達に役立つアドバイスをしてくれるためのものです。
緊張すると思いますが、この機会に心配なことなどいろいろ聞いてみましょう。

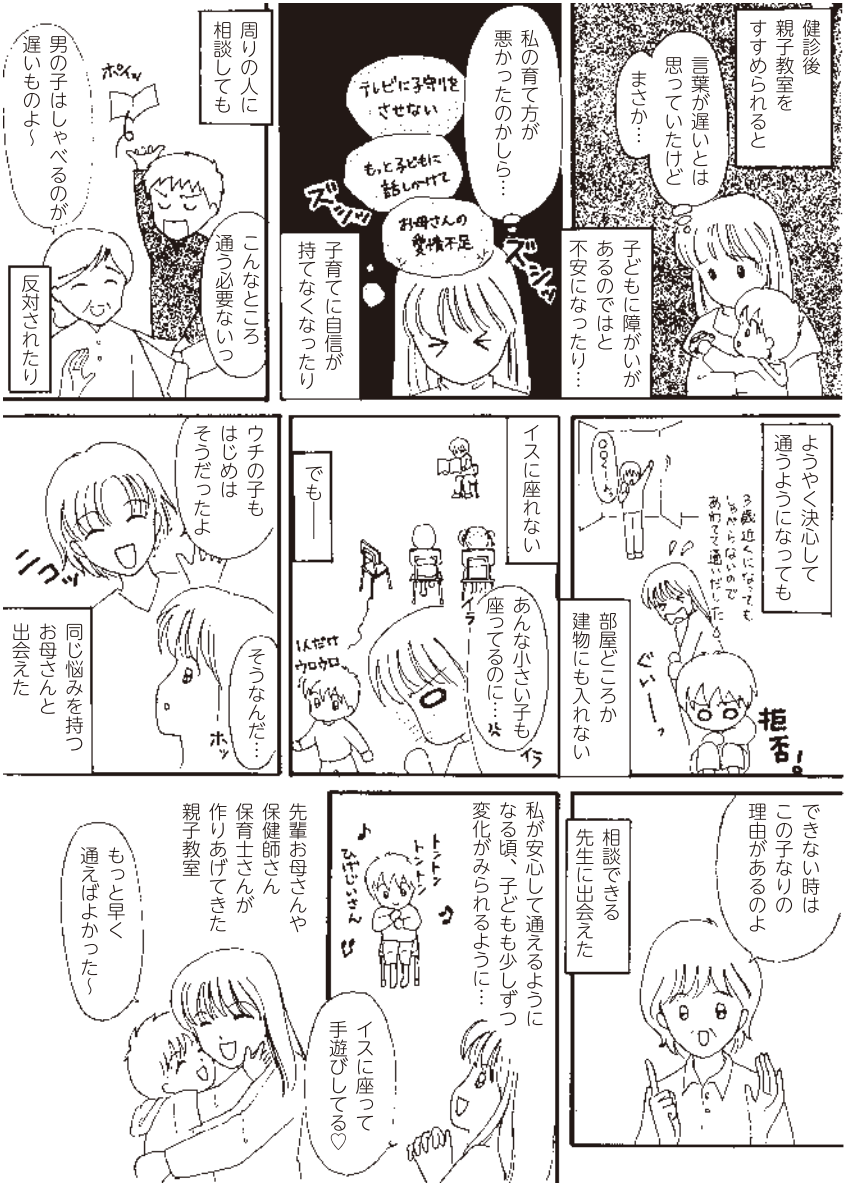
＜発達相談＞

１歳６か月、３歳の健診で声をかけてくれます。
健診時以外でも希望すれば相談にのってくれます。

親子教室

子どもの発達が気になったら、健診では、医師や発達相談員・保健師が対応しています。栄養相談・歯についての相談など様々なことを聞けますが、発達相談もその中の一つです。また、各保健センターで発達を促すための親子教室が開催されています。親子のあそび場と子ども同士の集団の場を与え、保育やあそびを充実し、発達を豊かに伸ばす教室です。（親子教室利用については、保健センターと相談のうえとなります）

親子教室へ ～我が家の場合



その他の相談先

和歌山市こども総合支援センター　☎073-402-7830

和歌山市福町40番地　fax073-402-7832
子どもに関する様々な問題を教育と福祉の視点から支援してくれます。
＊育児支援
　対象年齢：0歳（妊娠中も含む）から18歳未満までの子ども
　保健師･社会福祉士･臨床心理士などのスタッフが連携して対応しています。
　「子育てに悩んでいる」「育児に疲れている」「子どもにイライラしてしまう」などの相談に応じています。
＊教育相談
　学齢期以降の18歳までの「学校へ行かない（行けない）」「友だち関係で悩んでいる」「いじめられている」などの相談に応じています。
＊不登校の子どものための適応指導教室（ふれあい教室）もあります。
問い合わせ・面談の申し込み
　☎073-402-7830（月～金　午前９時～午後５時）
　相談専用電話　☎073-402-7831（月～金　午前９時～午後９時）

和歌山県立医科大学　小児成育医療支援室　☎073-441-0808

和歌山市紀三井寺811-1　和歌山県立医科大学附属病院3F
http://childsupport-wakayama.org/

子どもの発育・発達のこと、子育ての悩み、学校での問題など子どもについての相談に応じています。
相談時間　電話相談　午前９時～午後５時（土・日・祝、年末年始を除く）
来室相談は要予約
対象年齢：新生児から中学卒業まで。およびその保護者。
相談は無料です。

公立那賀病院でも、来所相談を受け付けています。
相談時間　毎週木曜日　午後２時～午後４時
那賀病院での相談を希望される方も、小児成育医療支援室（☎073-441-0808）に電話してください。

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター　☎073-445-5312

和歌山市毛見1437-218
http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040402/gaiyo.htm

子ども（18才未満）についてのあらゆる相談に応じます。それぞれの相談に対し、社会面、心理面、行動面などいろいろな角度からスタッフがチームを組んで子どもの問題解決に取り組んでいます。
相談のある方は事前に電話でお申し込み下さい。
子どもメンタルクリニックでは子どもとその親の心の悩みについて、児童精神科医が診療・治療（保険診療）を行います（要予約：☎073-445-5311）。
診療内容については、子どもの情緒・行動上の問題の診療と親ガイダンス、不登校児童の診療と親子のカウンセリング、育児不安や産後うつ病等こころの問題を抱える親の診療などがあります。
相談時間　月～金曜日　午前９時～午後５時45分（祝日及び年末年始除く）

子どもと家庭のテレフォン110番　☎073-447-1152

（和歌山県子ども・女性・障害者相談センター・電話相談専用）
月～金曜日　午前９時～午後８時
土・日・祝　午前９時～午後４時30分（年末年始を除く）
子どもについての悩みを持っている人や不安や悩みを抱える子どもたちのための相談電話です。

和歌山県発達障害者支援センター　ポラリス　☎073-413-3200

和歌山市今福3-5-41
fax073-413-3020
e-mail　polaris@jtw.zaq.ne.jp
http://aitoku.or.jp/polaris/

和歌山県内にお住まいの発達障害を持つ方とそのご家族、支援者の方、および関係機関からの相談を受けています。乳幼児から成人の方まで利用できます。

＜相談の流れ＞

新規相談

電話・FAX・郵送・e-mail などで
相談します。

↓

福祉制度・医療機関等の情報提供や助言・アドバイスを受けることができます

↓　　↓

相談申し込み　　終　了

↓

＊相談日の予約をします。
＊所定の相談用紙に必要事項を記入の上相談前日までに返送します

相談開始

※電話相談もしくは来所相談　月～金　午前10時～午後４時
相談用紙をもとに今後の支援方針を検討します
助言・アドバイス、他機関の紹介、療育、教育機関巡回支援、就労相談等の支援を受けることができます。

和歌山児童家庭支援センターきずな　☎073-460-8044

和歌山市つつじが丘7-2-1

子ども（18歳まで）についてのあらゆる相談（子育て不安、発達相談、障害相談、性格や行動の相談、虐待、家庭関係、生活のことなど）に、ソーシャルワーカーや心理担当スタッフが対応します。
電話相談、来所相談、家庭訪問、保育所・幼稚園・学校などへの訪問支援を行うとともに、心理検査や発達検査、カウンセリング、プレイセラピーなどの心理的な支援や親支援プログラムも行っています。
相談時間　電話相談　平日　午前９時～午後６時
　　面接相談　平日　午前９時～午後５時（要予約）

和歌山県教育センター　学びの丘　教育相談室　☎073-435-1550

和歌山市手平2-1-2　県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

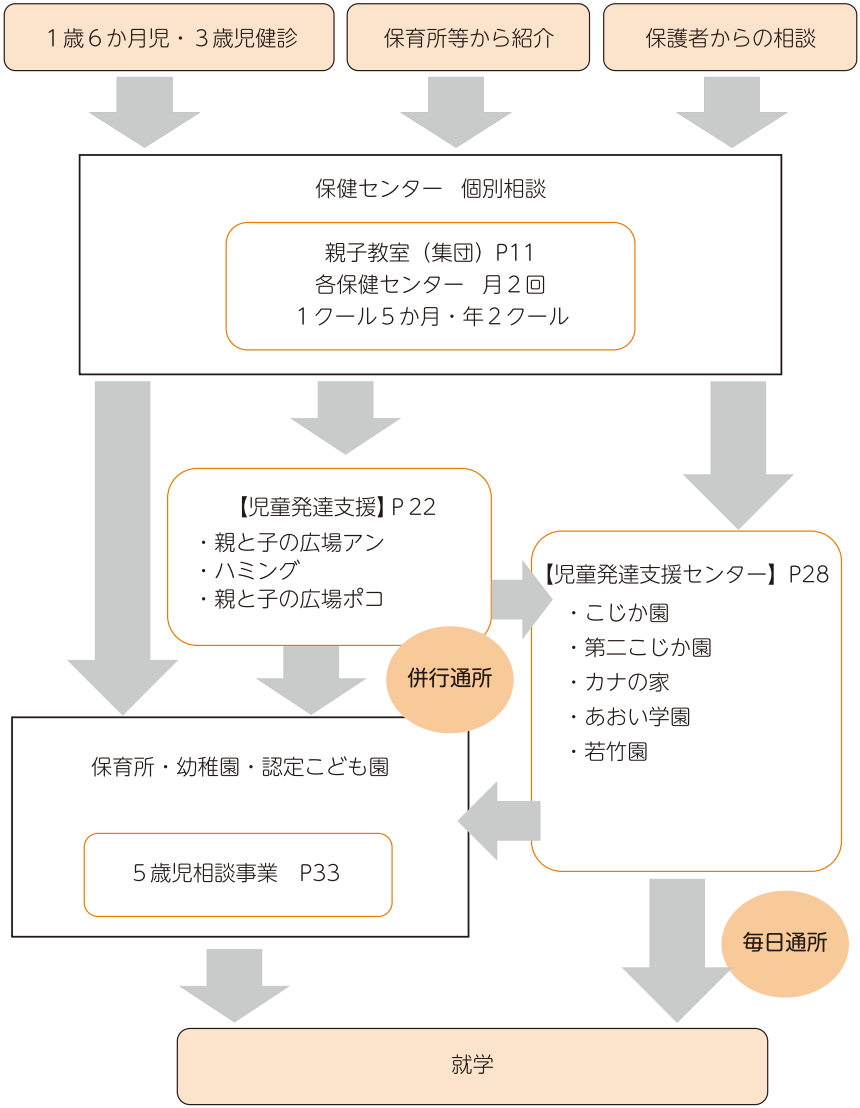
○心の教育相談
不登校やいじめ、非行等、児童生徒の心理的な問題について、教職員の相談に応じています。また、必要な場合には、直接、保護者や児童生徒の相談に応じ、問題解決への援助を行っています。
＊来所による教育相談は学校を通じての申し込みが必要です。

○特別支援教育相談
生活や学習上の困難により、特別な支援を必要とする子どもについての教育相談を行っています。対象は、教職員、保護者、子ども本人とします。ただし、子どもの来所に際しては、教職員または保護者の同伴が必要です。
＊特別支援に係る相談のみ公立幼稚園の相談にも応じます。幼稚園を通じての申し込みが必要です。

来所による相談：平日　午前９時～午後６時

電話相談　**☎073-422-7000**
月～金（年末年始、祝日を除く）午前９時～12時・午後１時～５時

和歌山市における早期療育支援の流れ



～先輩ママのメッセージ～

ひとりじゃないよ

うちの場合、病気があり、健康な子どもより発達が既に遅れていました。
それでも、病気が治れば他の子どもと同じように遊び、喋り、成長するものと思っていました。が、何かがおかしい。相手が嫌な顔をしているのに、平気で手を出したり、外出しても自分の興味のある方へ走るのみ。
喃語が出ない。私の言ってることが伝わらない。
主人や祖父母達はそんな私の不安を否定するばかり。
意を決して、主治医の紹介で医大の発達外来へ。発達障害、同時期に耳鼻科で難聴と診断されました。
どうして、我が子ばかり障害を背負わなくてはいけないのか…と周囲の子ども達をうらやむ日々でした。
障害という事実を受け入れがたい反面、子どもの為になることはやってみようと早期療育（親子教室）を始めました。子どもの障害を受け入れられたのはそのずっと後でした。
発達に不安を抱えた親子が通う親子教室。それぞれ持っている生きづらさは違うけど、子育てのしづらさはみんな同じ。そこで出会った仲間達と子育ての苦労を包み隠さず話すことで、一人だけじゃないって思え、心が救われる日々でした。
とはいえ、着替えやトイレなどの身辺自立が全く進まず、言葉を教えようにも興味がない。
もう、誰か代わってよ！！と心の中で泣き叫んだ日は数えきれません。
子どもって親がおしえなくても、自然と首が座り、ハイハイをし、お座りをし、歩き、喋り、周囲との関わりを覚えていくものだと思っていました。
が、発達について勉強をしていくうちに、子どもは発達を獲得していく、発達につまづきのある子ども達はその獲得に時間と周りの丁寧なサポートが必要な事を知りました。
たくさんの時間をかけて、一生懸命成長している我が子はなんて素敵なんだろうと思った瞬間でした。
今も苦労はありますが、ゆっくりだけど確実に子どもは成長しています。
あと数年したら、今よりもう少し子育てが楽になっているかなあと期待しています。

これまでを振り返ると、我が子のことを理解してくれる味方（専門家、先生、家族、友達など）が少しずつ増え、みんなで何が一番大切かを一緒に考えてくることができました。たくさんの方に支えられて、我が子にとって良い選択をしてこれたと思っています。
周りの子どもと比べて何かが違うこと、子育てのしづらさは決して母親の責任ではありません。
誰かに相談するのは勇気がいることだし、不安が現実になる恐怖はよく分かります。でも、きっと力になってくれる人がいます。
子どもの明るい未来を信じて、お母さん、誰かにその心の内を開いてみませんか。

自閉症って何？ ～うちの子の場合

自閉症は発達障害の1つです。「対人関係が結びにくい」「コミュニケーションがうまくとれない」「強いこだわりをもつ」といった特性があります。自閉症は心の病気や親のしつけによるものではなく、生まれた時からの脳の機能不全です。

こだわりは 多かれ少なかれ 誰にでも あることですが、「こうじゃ ないと ダメ」と 妥協できないのは、本人も 周りの 人も しんどいです。

これは、あくまでも 1例 であり、自閉症の特性や 障害の程度には 個人差があります。

就園前の早期療育支援

発達につまずきのある乳幼児を対象に、親子・集団での生活とあそびを中心に保育を提供しているところがあります。
発達を促すとともに、保護者自身が子どもの特性にあった関わり方などを学べるよう子育て支援に積極的にとりくんでいます。

保健センターの紹介で通えるところがあります。まずは、保健師に相談してみましょう。

児童発達支援　親と子の広場・アン（特定非営利活動法人　きのくに子どもNPO）
和歌山市土入25-1　かわばた産婦人科 横　ぱれっとほーる
090-8125-6940　e-mail hiroba.ann@ezweb.ne.jp
http://homepage2.nifty.com/kinokuni-kodomo/
【開設日】
月～金曜日（月曜日のみ市内コミュニティーセンター等で実施）
時間　午前９時～午後３時30分

児童発達支援　親と子の広場・ポコ（特定非営利活動法人　きのくに子どもNPO）
和歌山市福島487　ルミノーゾふるい２F
080-5764-7322
http://homepage2.nifty.com/kinokuni-kodomo/
開設日　月・火・木・金曜日
時間　午前９時～午後３時

親と子の広場･ポコは平成27年９月に開設しました。名前のポコは、スペイン語で「一歩ずつ」「少しずつ」などの意味のpoco a poco（ポコ　ア　ポコ）からとりました。アンと同様に『一歩一歩急がず焦らず前に進み、一つ一つゆっくりじっくり大きくな～れ』の願いを込めています。

アンとポコでは、子どもの成長・発達に不安のある乳幼児（１～３歳）を対象に、リズムあそびや外あそび、制作やクッキングなど親子・集団であそびを楽しみながら五感（見る・聞く・触れる・におう・味わう）を刺激し、丈夫な身体づくりと豊かな発達を目指しています。
子どもの笑顔と発達を保護者と職員がともに喜び、また保護者同士が共感し、よりつながり合える親の会なども行います。

ハミング子ども教室　（特定非営利活動法人ADLサポートセンター・ハミング）
和歌山市口須佐37-6　☎073-478-2378
http://www.humming-kids.jp/
開設日　月～金　午前９時～午後３時
就園前の子どもたちが毎日同じメンバーで過ごすことができます。子どもたちだけで過ごすのでスタッフが多く、アットホームなふんいきの一軒家でいろいろな体験をすることができます。
子どもの様子を写真入りでわかりやすく知らせています。年に２回個別に懇談会があり、子どもの成長や今後についての話や相談もできます。

こじか親子教室（社会福祉法人　一麦会）
休所中

乳幼児期は心の根っこを大事に

元小学校教諭　教育相談員　　上田 恵子

子育ては、人生の中で大仕事といえます。生まれた命を自立するまで育てていくことは、本当に大変ですが、でも、気持ちの持ち方や、接し方を少し変えるだけで、楽しい時間にもなると思います。
「子育ては、子どもとおとなの楽しいコミュニケーション」とも言われています。
どの子も同じみちすじを通って発達していきますが、発達に必要なのは安心感なのです。親や周りの大人のあたたかい気持ちや言葉かけを、いっぱい受けて育った子は、情緒が安定します。自分が愛されていると実感できることは、自己肯定感を育み、他の人も大切にすることにつながります。
子育てにあせりは禁物です。他の子と比べるのではなく、その子の過去と今を比べて、できるようになったことを一緒に喜びましょう。
子育ては、初体験のことばかりです。失敗もするでしょう。でも、肩の力を抜いて、今、目の前にいる子どもとの生活を楽しむことから始めてみましょう。子どもを愛おしく思う気持ちを、口に出して、スキンシップをして、伝えるのもいい方法です。
しんどい時にはSOSを出して助けてもらいましょう。子育ては親育てでもあるのです。親子で成長し合い、日々の生活を楽しみましょう。

就園に向けて

幼稚園・保育所のこと

子どもに何か気がかりなことがある場合、幼稚園・保育所（園）は何を基準に選んだらいいのでしょう。

・まず情報を収集しましょう

園や市のホームページを見たり、実際に通っているママなどから話を聞いて、気になる園があれば直接園に電話で問い合わせたり見学に行きましょう。
見学の際には都合のいい日時を確認、聞きたいことをメモしておくといいでしょう。
園の雰囲気を見て、わからないことは遠慮せず聞いてみましょう。

・行きたい園が見つかったら

園が好意的であってもすぐに入園OKにならない場合もあります。
入園前に園長や職員の方とよく話し合い、理解しあうことが大切です。

・入園後

はじめは母子通園を条件に入園を許可されるケースもあります。園での生活に慣れてきたら母子分離ができるようになることも多いです。
また園に子どものことを理解してもらうためには発達相談員や医師（主治医）から説明してもらう機会をもつのが有効な場合もあります。担当の保健師やかかりつけの医師と相談してみましょう。
それとは別に就園前には気づかなかったけれど集団に入ることによって他児との違いが明らかになり、なんらかの支援が必要になってくることもあります。
加配保育士を配置するなどの対応をしてくれる園もあります。
また、保育園や幼稚園に通いながら、児童発達支援センターなどの療育機関に併行通所することもできます。
どんな場合でも、子どもの発達にとって一番いいと感じた保育をしてくれる園を自分自身の目で選び、園側とよく話し合って信頼関係を築いていきましょう。

児童発達支援センター

就学前で発達のつまずきや障害のある子どもたちに、保育の場を提供し豊かな発達を保障するための児童発達支援センターがあります。センターでは園児3人に対して保育士が1人つき、ゆっくり丁寧に見てもらえることが大きな特徴です。

各園では保護者会、保護者の学習会など保護者への支援も行っています。

＜児童発達支援センターと幼稚園・保育所・認定こども園の違い＞

	児童発達支援センター	幼稚園	保育所	認定こども園
対象	就学前の療育の必要な乳幼児	満３歳から就学前	０歳～就学前「保育の必要性の事由」に該当すること	０歳～就学前 保育部分の対象は保育所に同じ
時間	午前９時15分～午後３時15分（６時間）園により若干の違いある	１号認定（教育標準時間）、預かり保育もある	２号、３号認定（保育標準時間、保育短時間）	１号認定（教育標準時間） ２号、３号認定（保育標準時間、保育短時間）
職員の配置	法的には園児４人に対し保育士または児童指導委員１人 ※実際にはどの園も園児３人に対し保育士１人	１学級35人以下を原則、学級は同一学年で編成を原則	配置基準は ０歳児　３対１ １・２歳児　６対１ ３歳児　20対１ ４・５歳児　30対１	幼稚園と保育所の配置基準を両方とも満たすことを原則
入園手続き	和歌山市障害者支援課の決定を受けて利用可能になる	保護者が各幼稚園へ直接申し込み、決定する	保護者が和歌山市保育こども園課へ申し込み、決定する	（保育部分）保護者が和歌山市保育こども園課へ申し込み、決定する （教育部分）各園に直接申し込み
利用者負担	原則１割負担（世帯の課税状況により負担上限月額有り）	設置者が決める	市町村民税額によって決定	
給食	給食を実施（園内の調理室で作る）	設置者が決める	給食を実施 （調理室は必置）	給食を実施 （調理室は必置）
場所	和歌山市内に４ケ所 紀の川市に１ケ所 通園バスあり	和歌山市内 公立　13ヶ所 私立　16ヶ所 通園バスを運行しているところもある	和歌山市内 公立21ヶ所 私立　33ヶ所 通園バスを運行しているところもある	和歌山市内 私立　７ヶ所 通園バスを運行しているところもある
定員	各センターによる	各園による	各園による	各園による

＊保育標準時間：１日最大11時間開所時間までの利用が可能。
保育短時間　：１日最大８時間開所時間までの利用が可能。
就労（月120時間以上）、妊娠・出産、虐待・DV等は保育標準時間
就労（月48時間～120時間未満）、求職活動、育児休業等は保育短時間

児童発達支援センターの１日の流れはこんな感じです♪

登園　自分の部屋に行き、身の回りの用意をしたら園庭へ！
↓
自由遊び　砂場でままごと、運動場でサーキット遊び、遊具遊び
↓
トイレタイム　基本的には時間排泄で活動の切れ目にトイレに誘います
↓
朝の会　手遊び・歌・呼名などをします
↓
グループ活動　散歩、リズム、描画、製作など
↓
給食　偏食の子どもさんへの支援もあります
↓
自由遊び
↓
お昼寝　パジャマに着替えて「おやすみなさい」
↓
おやつ
↓
帰りの会
↓
降園

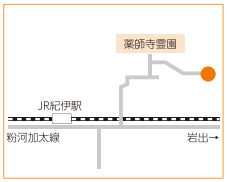
市バスに乗る、スーパーで買い物などの社会体験をします
<あおい学園・ひまわり園・こじか園・第二こじか園）

大好きなお話しを中心にした時間（絵本を題材にミュージカル仕立てのペープサートや人形劇など。全て先生の手作りで生のピアノ伴奏入りなので子どもたちの目はくぎづけです。）<ひまわり園・こじか園・第二こじか園>

各園とも、見学、体験入園を実施していますので、ぜひ一度訪問してみて下さいね。保健師さんも同行してくれるので安心です。
実際に園に行って、話しを聞いたり、園児の様子を見たりすることで、園の方針や雰囲気がよくわかりますよ。

＜福祉型児童発達支援センター＞

こじか園（社会福祉法人　一麦会）



和歌山市上黒谷460-2

☎073-462-2895　fax073-462-0097

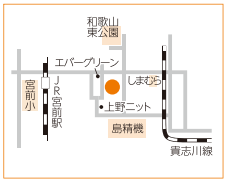
基本的生活習慣を身につけ、お友達と一緒に遊び、集団の中でいきいきと生活し、自分で「やってみよう」「やってみたい」という気持ちを育てて主体性を大事にしていく保育を行っています。

【園長よりひとこと】

自然豊かな環境のなか子どもたちがいきいきと遊んでいます。是非見学に来て下さい。

＜福祉型児童発達支援センター＞

第二こじか園（社会福祉法人　一麦会）



和歌山市田尻155-1　☎073-476-4410

2012年４月開園しました。

基本的生活習慣を身につけることや、意欲的に遊んだり、仲間と一緒に遊べることをめざしています。「自分からやろう」という主体性を尊重した保育をしています。

【園長よりひとこと】

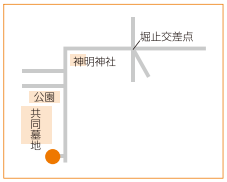
子ども自身が生活の主人公。
子どもたちの笑顔を見に来てください。

悩みを共感したり、励ましあったりできるお母さん達との出会いが、とても心強くありがたいです。子どもは毎日の丁寧な保育の中で、様々なことを経験し、一歩一歩確実に成長してくれています。

保護者学習会があるので子どもの発達について勉強できました。

＜福祉型児童発達支援センター＞

あおい学園（社会福祉法人　あおい会）



和歌山市今福2-9-35

☎073-422-0347　fax073-425-4351

http://www.aoikai.or.jp/aoigakuen/outline/index.html

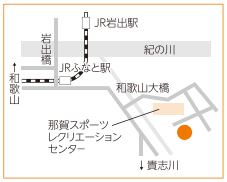
子どもたちが基本的な生活習慣を身につけ、身辺自立が図られるよう、また子ども同士で楽しく遊びコミュニケーションができるような療育、保育を行っています。

【園長よりひとこと】

「あおい学園」がどんなところなのか、まず見学してみてください。そこで子どもたちが、毎日どんなことをして楽しみ笑顔で過ごしているのかを見にきてください。

＜福祉型児童発達支援センター＞

ひまわり園（社会福祉法人　桃郷）



土・砂・水などを素材に身体を使っての外遊びなど自然の中でいきいきとした保育をしています。１日を時間的、空間的にメリハリをつける中で規則正しく生活でき、子ども自身が見通しをもてる生活の場をつくっています。

紀の川市桃山町調月58-3

☎0736-66-0995　fax0736-66-1905

【園長よりひとこと】

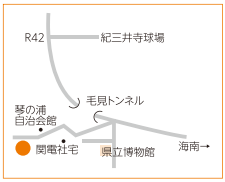
丁寧さと見通しを持たせる普通の保育を行っています。ぜひ見学に来てください。

ママの声

人に怯え、集団が苦手な子どもでしたが、療育施設でダイナミックに誉められ、個性を愛され、今では自信満々・友達＆先生大好きっ子になりました！

〈医療型児童発達支援センター〉

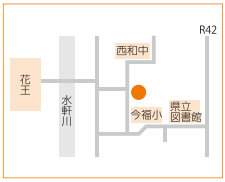
和歌山県立若竹園（社会福祉法人　琴の浦リハビリテーションセンター）



和歌山市毛見1451-1
☎073-445-5721　fax073-445-5724
http：//www.kotonoura.or.jp/wakatake/wakatake01.html
肢体に障害のある就学前の児童（0～6歳）のうち、通園が可能な児童を対象とし、医師の診察･指示に基づき、理学療法・作業療法・言語聴覚療法、保育を実施している総合療育施設です。

＜福祉型児童発達支援センター＞

カナの家（社会福祉法人　愛徳園）



和歌山市今福3-5-41　愛徳医療福祉センター内
☎073-425-2391
言葉が遅い、体の使い方が気になる、友達とうまく遊べない、すぐにイライラしてしまう、気持ちを切り替えにくい等、成長過程につまずきがあったり、保護者が育てにくさを感じている子どもを対象としています。
リトミックなどのダイナミックな遊びや絵画活動、玩具遊び等のじっくり取り組む遊びを組み合わせて、聴覚からの指示を理解する力や身体の使い方を楽しく身につけていきます。
お子さんのより良い発達を考え、保護者の方や地域関係者との連携を図っています。

～先輩パパからのメッセージ～

『一生懸命生きる』

2010年２月８日。我が家に待望の長男が誕生しました。私たち夫婦はこれからの「家族」のことを考えるだけで毎日が楽しく、希望に満ちた日々を送っていました。
息子が２歳の誕生日を迎えた頃でしょうか。少し気になることが出てきました。それは、「発する言葉数（単語数）が少ない」「話していても目を合わさない」といったことでした。妻に言われ気づきましたが、私自身は「まあ、そのうち話すようになるだろう。」と客観的に考えていました。しかし、それからも「落ち着きがない」「こだわりが強い」など息子の気になる行動が増えてきました。
ある夜妻が「これ見て。」とあるインターネットのサイトを見せてくれました。そこに書かれていたのは「発達障害」の文字でした。よく読んでいくと息子の特徴が当てはまっています。周りの勧めもあり医大で診察をしてもらいに行きました。半年ほど通い、息子のカウンセリングを行っていただきました。結果は「知的障害を伴う自閉症スペクトラム」でした。
ある程度覚悟はできていましたが、実際に医者からその言葉を聞くとショックは想像以上に大きかったです。これからどうなっていくのだろうと不安な日々が続きました。
ある日、突然息子はこんな一言を口に出しました。「僕だって一生懸命生きているんだ！」
これはある絵本の一文です。息子が何気なく発したこの一言は、医者から発達障害であると告げられた時の何百倍もの衝撃を受けました。そして、私を変えてくれました。障害があろうとなかろうと、妻がおなかを痛め産んでくれた大切な息子です。すべてを受け入れ、息子と向き合い愛していこうと誓いました。
私自身母子家庭で育ち、「父親とは子どもにとってどういう存在なのか」はわかりません。
悩むときもあります。妻に迷惑を掛けてしまうときもあります。しかし、私は父親。悩みながらも息子にとって自慢できる父親となって明るい家庭を築いていきます。それがわたしの生きがいですから。
今日も私たち「家族」は希望に満ちた日々を送っています。

就学について

就学相談

さまざまな場所で行われる就学相談の機会をとらえ、継続的に相談を進めることが大切です。

相談先はいろいろあります

・在籍する幼稚園や保育所で相談してみましょう。
・「５歳児相談事業」＊を活用しましょう。希望者には「和医大小児成育医療支援室」の出張相談を受けることができます。
・担当の保健師・発達相談員に相談しましょう。
・地域の小学校の校長先生に相談することもできます。できれば学校や特別支援学級の様子など見学させてもらいましょう。
・特別支援学校での学校説明会、体験入学、教育相談にも参加してみましょう。

特別支援学校・特別支援学級を希望する場合

地域の小学校の校長先生に申し出てください。教育支援委員会委員が、家庭や在籍している園等を訪問し、子どもの様子を観察します。また保護者との面談を行います。（６月～11月）
教育支援委員会で子どもの様子を総合的に判断した判定をもとに、校長先生と相談して就学先を決定します。（９月～11月）

就学時健康診断

地域の学校から実施日についての案内が送付されます。地域の小学校で実施されます。（９月～11月）

小学校への就学通知は

例年９月末～10月初旬に保護者あてに送付されます。
特別支援学校へ就学する場合は、１月末～２月初旬に入学通知が送付されます。

＊「５歳児相談事業」（地域保健課、保育こども園課、学校教育課）
和歌山市内のすべての幼稚園児、保育所児童対象に「５歳児相談生活状況調査」を配布しています。（４月末から５月初旬）支援が必要な子どもや保護者に対して和医大小児成育医療支援室と連携して相談を行います。また、幼稚園、保育所の先生からの相談も受けています。

どこに相談したらいいのかわからない、相談したがよくわからない、というようなときには教育委員会に問い合わせてみましょう。
〈問い合わせ〉　和歌山市教育委員会　学校教育課　☎073-435-1139

地域の小学校へ進学した場合の支援

教室内でのサポートがあったり、特別支援学級が設置されていたり等の支援を受けることができます。気になること、心配なことなどがあったら校長先生や担任の先生に相談しましょう。

聴覚や視覚に障害がある場合

ろう学校による通級指導・巡回指導、盲学校による体験教室・巡回指導を受けることができます。

和歌山県立和歌山盲学校

盲学校についてはP40をご覧下さい
体験教室：地域の小学校に在籍している視覚に障害のある児童に対して指導・支援
１回～２回／月（４月頃居住地小学校と連携して）
低学年高学年に分かれて１日体験教室
巡回指導：居住地校訪問

和歌山県立和歌山ろう学校

ろう学校についてはP41をご覧下さい
通級指導（どんぐり教室）：小学校の通常の学級に在籍している聴覚に障害のある児童に対して指導・支援
巡回指導：居住地校訪問

言語障害や発達障害がある場合

通級指導教室で指導を受けることができます。

ことばの教室（言語障害通級指導教室）

通常の学級に在籍する児童のうち「ことば」に関して特別な指導を必要とする児童に、構音や吃音などを中心に言語発達を促す指導を行います。

・和歌山市立楠見小学校　　ことばの教室
・和歌山市立吹上小学校　　ことばの教室

さぽーと教室・トライルーム（LD等通級指導教室）

通常の学級に在籍しているLD、ADHD、高機能自閉症等とサポートの必要な子どものために教育支援を行う教室です。日常生活の諸活動において生じるつまずきや困難を軽減し、一人一人の特性に応じて、学習や社会性、コミュニケーションの力を伸ばすための指導を行います。

・和歌山市立楠見小学校　　さぽーと教室
・和歌山市立木本小学校　　さぽーと教室
・和歌山市立宮小学校　　さぽーと教室
・和歌山市立広瀬小学校　　さぽーと教室
・和歌山市立和歌浦小学校　さぽーと教室
・和歌山市立河西中学校　　トライルーム
・和歌山市立西浜中学校　　トライルーム

※在籍校に通級指導教室がなくても、ことばの教室・さぽーと教室に通級することができます。各教室の担当校区が決まっています。通級を希望する場合は、入学後、在籍校の校長先生や担任の先生に相談しましょう。

学齢期になってから発達の上で気がかりなことが出てきたら・・・

まずは担任の先生や校長先生に相談してみましょう。
スクールカウンセラーが和歌山市内すべての中学校に配置されています。
小学校でスクールカウンセラーが配置されてない場合は、地域の中学校のスクールカウンセラーに相談できます。それぞれ通っている学校にお問い合わせください。
また相談機関（Ｐ13参照）に相談することもできます。
子どもにとっていい方法を考えていけるといいですね。

子どもと学校

～不登校の子どもを持つ親の経験から～

最近「不登校の親の会＊」などで、「子どもの『不登校』を相談したら『発達障がい』と診断された」「カウンセリングにかかっている」という話をよく聞くようになりました。確かに、発達につまずきを持っている子どもが周囲から理解されず、不登校になることもあります。しかし、「発達障がい」の子どもがすべて「不登校」になるわけではありません。

「不登校」とは、学校に馴染めず、「学校に行かない、行けない」という選択をした状態です。子どもたちはみんな「学校へ行かなきゃ」と思っています。でも行けないから行かないのです。「根性がない」からでもなく「サボっている」のでもないのです。

もし発達障がいが原因で不登校になっているとしたら、学校の先生とよく話し合って、問題解決（学習支援、いじめやからかいの防止など）のための良い解決方法を探して欲しいと思います。先生は、学校の中に児童・生徒にとって何かしんどい状況が出てきていないかと立ち止まって考えて欲しいと思います。発達障がいの子どもが過ごしやすい学校環境はすべての児童・生徒にとっても過ごしやすい、いい環境になるのでは･･･と思うからです。

家庭では、まず子どもが安心して過ごせる「居場所」を作って上げて欲しいと思います。口出しや指示は極力控えられたらいいな。もちろん学校へ行かないという子どもの選択を尊重してあげて欲しいです。

10年前、私の子どもが小学３年生で不登校になった時は、子どもの対応にオロオロし､イライラしていました。そんな時に一番助かったのは｢親の会｣の人たち（不登校の先輩ママ）の話でした。いろいろな愚痴を聞いてもらったり､ほかの人の話を聞いたり。｢不登校｣というマイナーな話を本音でしゃべる場があり、そこで「元気」を少し分けてもらっていました。

「すべての子どもはひとりひとり、違った感性を持ち、成長する力を持っている。」これは私が、子どもの不登校のおかげでわかったことです。

＊「不登校を持つ親の交流会」
（レインボーハウス　☎073-462-3060）

特別支援学校

特別支援学校とは、障害を持つ子どもたちが通っている学校です。それぞれ障害に応じて専門性の高い教育を行っています。また、各特別支援学校には通学していない子どもとその保護者のためのさまざまな「教育相談」や地域の幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校への授業見学を通しての巡回相談や子どもの支援に関わる人（医療や福祉、行政など）との連携会議、また地域の学校の先生方対象の学習会を行っています。（これらはすべて無料です。）

支援学校

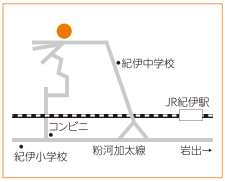
自閉症やダウン症、知的障害児や肢体不自由児、多様な障害のある児童生徒が学んでいます。一人一人の発達や特性に合わせた指導・支援をしています。健康管理や日常生活の基本的な習慣やコミュニケーション力を身に付け、それぞれの学び（教科や各領域等）を通して主体的に社会生活を営むために必要な力を高めます。

和歌山県立紀北支援学校

＜本校＞和歌山市冬野227　☎073-479-1356　fax073-479-2677
http//www.kihoku-sh.wakayama-c.ed.jp
校区：和歌山市（高積中学校区を除く　紀ノ川以南全域）
　　海南市（下津町を除く）・紀美野町
・小学部　・中学部　・高等部(本校のみ)　・訪問教育
＜教育相談＞教育支援部
住所・☎・fax・URLは本校と同じ
相談メール:kihoku.shien@.wakayama-c.ed.jp
相談電話：073-479-1356
相談受付は随時行っています。電話（本校)、相談メールでご連絡ください。
相談日時は、受付時にご相談させていただきます。
＜愛徳分教室＞和歌山市今福3-5-41
　　☎・fax 073-423-8441

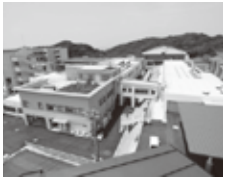
和歌山県立紀伊コスモス支援学校

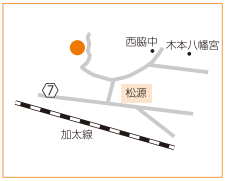
和歌山市弘西555
☎073-461-6500　fax073-461-7300
http://www.kiikosumosu-sh.wakayama-c.ed.jp
校区：和歌山市（有功小学校以東の紀ノ川以北及び高積中学校区）
　　岩出市・紀の川市貴志川町
・小学部　・中学部　・高等部　・訪問教育
＜教育相談＞
相談メール　kosumosu-soudan@kiikosumosu-sh.wakayama-c.ed.jp
相談受付：随時　　相談日：受付時に相談



和歌山県立和歌山さくら支援学校

和歌山市西庄1148-1
☎073-453-0303　fax073-453-0789
http://www.sakura-sh.wakayama-c.ed.jp
e-mail　postmaster@sakura-sh.wakayama-c.ed.jp
校区　和歌山市紀ノ川以北で鳴滝川以西の地域
・小学部　・中学部　・高等部　・訪問教育
＜教育相談＞支援部
相談メール　sakura.shien@wakayama-c.ed.jp
☎073-453-0303　fax073-453-0789
相談は随時受け付けています





和歌山大学教育学部附属特別支援学校

和歌山市西小二里2丁目5-18

☎073-444-1080　fax073-447-2597

http://www.pal.wakayama-u.ac.jp

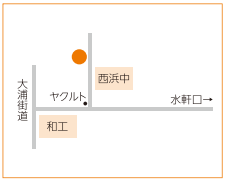
校区：和歌山市もしくは公共交通機関を利用して片道約１時間以内に居住していること。(29年度入学生より「公共交通機関を利用して片道約１時間以内に居住していること」に変更)

・小学部　・中学部　・高等部

＜教育相談＞児童生徒支援部

住所・☎・fax・URLは同上

相談日：月曜日　午後４時～５時

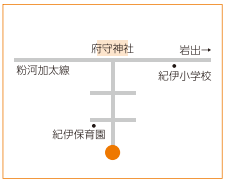


盲学校

視覚に障害のある３～60歳前後の生徒が普通教育や職業教育を受けています。拡大教科書や視覚補助具を使うなど、個々の見え方に合った方法で学習しています。また、社会自立を目的に情報機器の利用や、点字や歩行、日常生活・視知覚訓練、あん摩マッサージ指圧・はり，きゅう師になるための職業教育を行っています。

和歌山県立和歌山盲学校

和歌山市府中949-23　☎073-461-0322　fax073-461-0323
http://www.wakayama-sb.wakayama-c.ed.jp/
校区：和歌山県全域（寄宿舎あり）
・幼稚部　・小学部　・中学部　・高等部　・専攻科
＜教育相談＞支援室
住所・☎・fax・URLは同上
相談受付：月曜から金曜　午前９時～午後４時30分
相談日：相談の上
対象年齢：０歳～成人
体験教室：体験教室１～２回／月
巡回相談：居住地校訪問
幼児教室：０～２歳児の乳幼児の指導（右表）



	盲学校幼児教室（ひよこ教室）
対象年齢	０歳～2歳児
通学形態	毎水曜（1回/週）
時　　間	9：30～12：00
授　　業	親子集団・集団
授 業 料	無料（諸費は必要）

どんなふうに見えているのか気になったら相談してみましょう

・弱視である　・顔を見てくれない
・物を見るときに顔を近づけていたり斜めに見ている
・まぶしがる　・ボール遊びが苦手

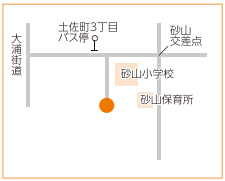
次のようなことも見え方に関係している場合があります。

・飽きっぽい　・よくつまずく　・探すのが苦手

ろう学校

聴覚に障害のある３歳からの幼児・児童・生徒が通い、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を受けています。電子黒板や先生手作りの視覚教材、手話や口話（話し言葉）、文字など様々なコミュニケーション手段を使い、より分かりやすい環境の中で学習しています。自らの障害を理解し社会で自立していくために、聴能（一人ひとりの「きこえ」の状態を把握・聴力測定・聴く姿勢を育てる教育・聞こえ方の検査など）・発音・手話など個々に応じた教育を行っています。

和歌山県立和歌山ろう学校



和歌山市砂山南3-1-73
☎073-424-3276　fax073-424-0310
http://www.wakayama-sd.wakayama-c.ed.jp/
校区：和歌山県全域（寄宿舎あり）
・幼稚部　・小学部　・中学部　・高等部　・専攻科
（高等部・専攻科には普通科、被服科、産業工芸科、理容科あり）
・通級指導：小学校の通常学級に在籍している聴覚に障害のある児童に対して指導・支援
＜教育相談＞教育支援部
住所・☎・fax・URLは同上
相談メール：warou.shien@wakayama-c.ed.jp/
相談受付：随時　相談日：予約制
対象年齢：０歳～18歳
体験入学：必要に応じて
巡回相談：居住地校訪問、各地域での個別支援
幼児教室：０～２歳児の乳幼児の指導もあります。（右表）

	ろう学校幼児教室（ひよこ教室）
対象年齢	０歳～2歳児
通学形態	１日/週（相談の上）
時　　間	相談の上
授　　業	親子単位個別・集団
授 業 料	無料
聴力測定	防音設備のある測定室で定期的に測定

どんなふうに聞こえているのか気になったら相談してみましょう

・発音がはっきりしない　・呼んでも振り向かない　・話し声が大きい
・テレビの音を大きくしたがる　・中耳炎になったことがある
・雑音があるとよくききとれない
・新生児聴覚スクリーニング検査で精密検査が必要と言われたことがある

次のようなことも聞こえ方に関係している場合があります。

・言葉が遅れているようだ　・聞き返しが多い　・状況判断で動く

インクルーシブ教育ってなに？

「インクルーシブ教育」をひとことで表現すれば誰をも排除しない教育といえます。障がいがあっても、民族が違っても、違いによって分けることなく、さまざまな違いを持った子どもたちが、同じ空間で学ぶ教育です。
すでに「**障がい児も含めすべての子どもたちは地域の普通学級で学ぶことを原則**とし、本人・保護者が希望した場合は特別支援学校・特別支援学級へ就学する」等の提言がなされています。
しかし特別支援教育には理念として「共生社会の実現」があるもののそのための具体的な施策等はまだ十分ではなく、またまわりの受け入れる体制もできているとはいえません。
すぐに変わっていくことは難しいですが、社会全体で考え、よりよい形の「インクルーシブ教育」を目指していかなければならないでしょう。
これからは本人の意思がより尊重され、保護者が決定しなければならないことも増えてくることが予想されます。どの子どもも生き生きと育っていける施策であってほしいと思います。

児童発達支援事業
放課後等デイサービス
保育所等訪問支援事業

発達に戸惑いがあったり、障害を持つ子どもの育ちを家族とともに見守り働きかける療育機関があります。「児童発達支援」、「放課後等デイサービス」、「保育所等訪問支援事業」です。

個別の支援計画をたてることで、その子に合った支援が受けられます。

これらの利用を希望するときは、まずは和歌山市の窓口（障害者支援課）に相談します。市役所での手続きの後、指定相談支援事業所（Ｐ48）や指定障害児相談支援事業所（Ｐ49）と相談して「サービス等利用計画案」を作成し支給決定を受けます。受給者証が届いたら各事業者と契約します。直接問い合せたり、見学に行って検討してください。

児童発達支援事業（就学前の子ども対象）

事業所・施設の名称　所在地　電話番号	時間と主な対象年齢
あんしあなとぅデイサービスセンター （社会福祉法人河西福祉会） 和歌山市松江東1-7-25　073-454-8900	月曜～金曜　終業時間～17:00 （開始時間はご家族と相談） 土日　10:00～17:00 送迎あり　未就学児～
ハミング子ども教室 （特定非営利活動法人ADLサポートセンター・ハミング） 和歌山市口須佐37-6　073-478-2378	月～金　9:00～15:00 土曜教室あり １歳から就学前
クロネット （特定非営利活動法人クロネット） 和歌山市松江中3丁目7-10　073-454-7111	月曜～金曜　9:00～18:00 送迎有り 未就園児～小中高生（要相談）
児童デイサービス　こうさぎ （特定非営利活動法人コミュニティネット） 和歌山市杉ノ馬場4-1-1　073-499-4139	月～土 10:00～17:00 送迎あり 幼児～小学生
児童発達支援　親と子の広場・アン （特定非営利活動法人きのくに子どもNPO） 和歌山市土入25-1　090-8125-6940	月～金曜日　9:00～15:30 祝日、振替休日は休み 保護者同伴での通園 未就園児
児童発達支援　親と子の広場・ポコ （特定非営利活動法人きのくに子どもNPO） 和歌山市福島487ルミノーゾふるい2F 080-5764-7322	月・火・木・金 9:00～15:00 祝日、振替休日は休み 保護者同伴での通園 未就園児

ほほえみ （有限会社ほほえみ）		9:30～17:30 休み　12/30～1/3 送迎あり　0才～
和歌山市中439-1	073-451-3363	
はなのいえ （有限会社プランニングレリーフ）		第１・３・５日曜日のみ 10:00～14:00 送迎あり　未就学児
和歌山市広原11-5	073-479-9250	
デイサービスステーション華菜 （有限会社プランニングレリーフ）		第１・３・５日曜・木曜　休み 下校時間～17:30 第２・４日曜日、土曜日、祝日・夏期休暇　10:00～14:00 送迎あり　小学１年生～
和歌山市広原11-5	073-479-9250	
なのはな・ぷらす （有限会社プランニング守山）		月曜～金曜　13:30～17:30 土曜、祝日、長期休暇 9:30～13:30 送迎あり 未就学児・小学生以上
和歌山市善明寺86-18	073-480-5020	
なのはな・きっず （有限会社プランニング守山）		月～金曜　下校時間～17:30 土曜日・祝日・長期休暇 9:30～13:30 送迎あり 未就学児・小学生以上
和歌山市善明寺595-1	073-451-6700	
児童デイサービス　雪うさぎ （合同会社　雪うさぎ）		未就学児　10:00～17:00 小学生以上 下校時間～17:00 土曜　9:00～15:00 祝日及び長期休暇 10:00～17:00 送迎あり
和歌山市和佐関戸228-1	073-499-8338	
児童デイサービスあい （和歌山県福祉事業団）		月～土　9:30～17:30 日・祝休み 幼児～18歳まで
和歌山市梶取20-1	073-455-0270	
児童デイサービス　あい・らんど （和歌山県福祉事業団）		月～土　9:30～17:30 日・祝休み 幼児～18歳まで
和歌山市森小手穂2-1	073-479-0050	
モンキー‘Sスクール （株式会社　真道）		月～金曜　11：30～17：30 土、祝日　9：30～15：30 幼児～高校生
和歌山市栗栖636	073-499-7905	

放課後等デイサービス（就学している子ども対象）

事業所・施設の名称　　所在地　　電話番号	時間と主な対象年齢
第二こじか園（ぽけっと） （社会福祉法人一麦会） 和歌山市田尻155-1　073-476-4410	月～金曜　13:00～17:00 土　9:00～15:00 （長期の休みは時間変更あり） 小学１年生～高校３年生
ハッピーステーション （社会福祉法人ハッピーステーション） 和歌山市米屋町３　ぷらくり丁　ブリスビル１階 073-494-6212	月～土曜　13:30～17:30 日・祝日・長期休暇 9:30～13:30または 13:30～17:30 送迎あり 小学1年生以上
あんしあなとぅデイサービスセンター （社会福祉法人河西福祉会） 和歌山市松江東1-7-25　073-454-8900	月曜～金曜　終業時間～17:00（開始時間はご家族と相談） 土日　10:00～17:00 送迎あり　未就学児～
児童デイサービス　フレンズ （特定非営利活動法人おもちゃばこ ） 和歌山市新庄166-23　073-477-3282	平日・祝日　13:00～17:30 土曜　9:30～15:30 送迎あり 小学１年生～高校生 長期休暇　9:30～15:30
クロネット （特定非営利活動法人クロネット ） 和歌山市松江中3丁目7-10　073-454-7111	月曜～金曜　9:00～18:00 送迎有り 未就園児～小中高生（要相談）
児童デイサービス　こうさぎ （特定非営利活動法人コミュニティネット） 和歌山市杉ノ馬場4-1-1　073-499-4139	月～土 10:00～17:00 送迎あり 幼児～小学生
児童デイサービス　こぐま （特定非営利活動法人コミュニティネット） 和歌山市北汀丁7　080-6129-6327	月～土 10:00～17:00 送迎あり 中高生
ファミリー児童デイサービス 和歌山市土入25-10　フリューゲル21　２階 073-455-6666 **ファミリー・キッズ** 和歌山市土入21-9　メゾリベア102号 073-455-6666	月曜～金曜 終業時間～18:00 土曜・祝日　9:00～17:00 長期休暇及び学校休校日 9:00～17:00 送迎あり 小学１年生～高校３年生
ほほえみ （有限会社ほほえみ） 和歌山市中439-1　073-451-3363	9:30～17:30 休み　12/30～1/3 送迎あり ０才～

ほほえみ・ぷらす （有限会社ほほえみ） 和歌山市梅原185-7　073-451-3363	月～金曜・祝日 13:00～17:30 第1，3土曜　11:00～17:00 第2，4，5土日　休み 送迎あり 小学1年生以上
児童デイサービスMiKU （有限会社　ケアセンター未来） 和歌山市東高松4-4-36　073-419-1139	月～金　13:00～18:00 土・祝　10:00～16:00 （日休み） 長期（春夏冬）休み 月・水・金　13:00～18:00 火・木・土　10:00～16:00 10:00～16:00までの日はお弁当が必要 送迎あり（要相談） 小学1年生～高校生まで
デイサービスステーション華菜 （有限会社プランニングレリーフ） 和歌山市広原11-5　073-479-9250	第1・3・5日曜・木曜　休み 下校時間～17:30 第2・4日曜日、土曜日、祝日・夏期休暇　10:00～14:00 送迎あり 小学1年生～
なのはな・ぷらす （有限会社プランニング守山） 和歌山市善明寺86-18　073-480-5020	月曜～金曜　13:30～17:30 土曜、祝日、長期休暇 9:30～13:30 送迎あり 未就学児・小学生以上
なのはな・きっず （有限会社プランニング守山） 和歌山市善明寺595-1　073-451-6700	月～金曜　下校時間～17:30 土曜日・祝日・長期休暇 9:30～13:30 送迎あり 未就学児・小学生以上
児童デイサービス　雪うさぎ （合同会社　雪うさぎ） 和歌山市和佐関戸228-1　073-499-8338	未就学児　10:00～17:00 小学生以上 下校時間～17:00 土曜　9:00～15:00 祝日及び長期休暇 10:00～17:00 送迎あり
児童デイサービスあい （和歌山県福祉事業団） 和歌山市梶取20-1　073-455-0270	月～土　9:30～17:30 日・祝、8/13～15、12/29～1/4　休 幼児～18歳まで

児童デイサービスあい・らんど （和歌山県福祉事業団） 和歌山市森小手穂2-1　073-479-0050	月～土9:30～17:30 日・祝、8/13～15、12/29～1/4休 幼児～18歳まで
モンキー'Sスクール （株式会社　真道） 和歌山市栗栖636　073-499-7905	月～金曜　11:30～17:30 土、祝日　9:30～15:30 送迎あり 幼児～高校生
エジソンジュニア （一般社団法人　パーソナリティカレッジ　エジソン） 和歌山市梶取169　073-480-1147	学校終了後　13:00～17:00 学校休業日　9:00～17:00 日曜休み 小学1年生～高校3年生
和歌山YMCAシードクラブ （特定非営利活動法人　和歌山YMCA） 和歌山市太田1丁目12-13　073-473-3338	放課後　13:30～17:30 長期休暇中　10:00～15:00 土・日・祝休み 送迎あり 小学１年生～高校３年生
さくらんぼ教室 和歌山市舟津町２丁目16-1　073-412-3456	9:00～17:30 月曜日～日曜日　送迎有 小学１年生～高校３年生
おれんじ倶楽部 和歌山市北中間町50　073-419-0197	9:00～17:30 月曜日～日曜日　送迎有 小学１年生～高校３年生

より良い療育を目指すために、保育所・幼稚園・小学校等を訪問し、子どもの集団生活への適応のために、専門的な支援を行います。（「保育所等訪問事業」）

保育所等訪問支援事業所

事業所名	所在地	電話番号
カナの家 （社会福祉法人愛徳園）	今福3-5-41	073-425-2391
第二こじか園 （社会福祉法人一麦会）	田尻155-1	073-476-4410
なのはな・きっず （有限会社プランニング守山）	善明寺595-1	073-451-6700
クロネット （特定非営利活動法人クロネット ）	松江中3丁目7-10	073-454-7111
ハミング子ども教室 （特定非営利活動法人ADLサポートセンター・ハミング）	口須佐37-6	073-478-2378

相談支援事業所

相談支援事業所では、仕事や生活等で困っていることを気軽に相談できます。そして相談する中で明らかになった課題（ニーズ）を解決する方法を利用者と一緒に考え、必要な支援を行います。相談内容の秘密は厳守され、利用料も不要ですのでお気軽にご相談ください。

市町村委託の相談支援事業所

事業所名	電話番号 (FAX)	住所 E-mail	相談受付
相談支援事業所 シャローム	073-425-2406 073-426-1044	和歌山市今福３丁目５－４１ aitokuzaitaku@yahoo.co.jp	月～金 9:00～20:00
	「共に生きるあなたとわたし」をモットーに、お一人お一人の生活での困りごとや抱えている悩みをお伺いし、必要なサービスへの橋渡しや、一緒に考えることで、安心して生活できるようお手伝いします。		
和歌山圏域障害児者相談支援事業所　りん	073-479-3128 073-479-3130	和歌山市森小手穂2-1 sc-rin01@wfj.or.jp	9:00～17:30 土・日・祝を除く
	ひとりで悩んでいませんか？子どもの運動発達や知的発達、保育所や学校、仕事や生活　友達の事。まずは、お気軽にお電話下さい。一緒に考えていきます。		
つわぶき 相談支援事業所	073-435-0294 073-424-0294	和歌山市美園町5-4-2 soudan294@tuwabuki.jp	9:00～17:00 土・日・祝を除く
	つわぶき相談支援事業所はカフェのような雰囲気の場所で暮らしている中での困り事を受け付けていますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。		
サポートセンター「麦の郷」	073-472-8549	和歌山市岩橋643	9:00～17:15
	073-472-8563	ichibaku@muginosato.jp	土・日・祝を除く
	＜ていねい＞と＜フットワーク＞をモットーに家庭訪問や相談、支援活動をしています。お困りの事、不安なことがあるときはお気軽にまず、お電話下さい。		
地域活動支援センター　櫻	073-444-2468 073-446-6607	和歌山市塩屋３丁目６－２ spring-s@hera.eonet.ne.jp	月～金/ 9:00～19:00 土/9:00～12:30 日・祝　12/30～1/3は休み
	「安心して自分らしく･･･」障害のある方が、よりよい生活をおくれるようサポートします。		
麦の郷 和歌山生活支援センター	073-423-2267 073-423-2268	和歌山市西旅籠町４番地第2垂井ビル１F wsc@solana.biz	月～金 9:00～17:15 祝日・年末年始除く
	日常生活、仕事、福祉制度の利用などで、わからないことや行き詰まったこと、悩みや希望がはっきりしていなくても気軽におたずねください。		

＜指定障害児相談支援事業＞

市町村委託の相談支援事業所以外にも障害児通所支援サービス（児童発達支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業）を利用したいとき、相談にのったり、「障害児支援利用計画案」の作成をしてくれる事業所があります。

事業所名	住所	電話番号 fax	運営主体
相談支援事業所フレンズ	〒649-6264 和歌山市新庄166-23	073-477-3282 073-494-3270	(NPO)おもちゃばこ
特定非営利活動法人クロネット「あしすと」	〒640-8441 和歌山市松江中3-7-10	073-454-7111 073-488-5317	(NPO)クロネット
こじか園	〒649-6306 和歌山市上黒谷460-2	073-462-2895 073-462-0097	(福)一麦会
特定非営利活動法人自立生活応援センターわかやま	〒640-8323 和歌山市太田47-7	073-472-6731 073-472-3177	(NPO)自立生活応援センターわかやま
ウイッシュ居宅介護支援事業所	〒640-8284 和歌山市出口端ノ丁20-1	073-421-3321 073-421-3320	(有)ウイッシュ
ヘルパーステーションクローバー	〒641-0001 和歌山市杭ノ瀬449-2	073-474-0098 073-474-0099	(有)ヘルパーステーションクローバー
相談支援菜の華	〒640-8471 和歌山市善明寺595-1	073-480-5020 073-480-5025	(有)プランニング守山
相談支援事業所ともに一	〒641-0044 和歌山市今福2丁目7番21号	073-426-5578 073-426-5656	(NPO)和歌山自立支援センター
有限会社ヤマックス	〒640-8422 和歌山市松江東1丁目7番36号	073-451-5471 073-414-2943	(有)ヤマックス
相談支援事業所さくら	〒640-8481 和歌山市直川1795	073-462-8010 073-462-8015	(有)和歌山サンクリーン
自立プラン　カーム	〒640-8255 和歌山市舟津町3丁目32-3 パレロワイヤル舟津1F	073-402-6853 073-402-1960	(NPO)和歌山ケアマネージャーの会
ほほえみ相談支援事業所	〒640-8452 和歌山市梅原185-7	073-451-3373 073-451-3511	(有)ほほえみ
アップル相談支援事業所	〒640-8294 和歌山市北中間町8番地	073-412-1333 073-412-1332	(株)GreenApple

Book review

「自閉症の僕が跳びはねる理由」

会話のできない中学生がつづる
内なる心

東田　直樹著

2007年　エスコアール出版部

「跳びはねる思考」

会話のできない自閉症の僕が
考えていること

東田　直樹著

2014年　イースト・プレス

―― この本を読んで下されば、今よりきっと自閉症の人のことを、あなたの身近な友達のひとりだと思っていただけると思います。

（「跳びはねる理由」本文より）

どちらも東田直樹さんが自閉症者として生きていく中で感じる思いをありのまま丁寧に書いたエッセイです。これらの本は自閉症の世界を知ることにとどまらず、「生きる」ことの本質について考えさせられます。さらには見えている世界、見えないけれど全身の感覚で感じる世界の中で、物事の本質を捉えることで、私たちを自由な思考の世界まで導いてくれるものです。

余暇活動

放課後や土日、休暇中などどうしても家の中で過ごしがちになりますね。いろいろな経験をすることは子どもの成長のためにも大切なことです。
障害を持つ子どものための活動はまだじゅうぶんではなく、どこも定員があくのを待っているような状態のところも多いですが、子どもの好きなこと、得意なことが増えて、生活の場が広がるといいですね。

音楽体操教室

ぐりっとら

しょうがいを持つ子どもと家族のための活動を展開しています。こどもの教室・親の交流・地域との交流・イベントなどの活動を通してしょうがいを持つ子どもと家族が社会参加できる地域づくりを目指しています。

□体操教室
体力を発散させることで日々の情緒の安定を促します。活動を通してコミュニケーションや社会のルールを学びます。
　場所：ビッグホエール軽運動場
　時間：月２回木曜日
　　ゆったりクラス　午後３時40分～４時20分
　　発散クラス　　午後４時40分～５時20分
　対象：障害を持つ子ども
　運営費：月2,000円

□ミュージック・ケア教室
情緒の回復や安定、運動感覚や知的機能の発達を促します。
　場所：ビッグ愛９階
　時間：月２回木曜日　午後４時30分～５時30分
　対象：障害を持つ子ども
　運営費：月2,000円

□母親癒しの教室（ヨガ）
障害児のお母さんが対象です。心身に溜まった日頃の疲れを癒しましょう。
　場所：パーソナリティカレッジ　エジソン２階
　時間：第１、３水曜日　午前10時～11時

対象：障害児の母親
参加費：月2,000円
連絡先：e-mail　glittra2010@yahoo.co.jp

音楽療法

紀の国音楽療法研究会

障害のある子どもさんを対象に、音楽療法のセッションを提供し運動機能や発語、コミュニケーション力を引き出したり充実した余暇を作り出すことを目的にしています。
学会認定の音楽療法士の資格を持った人（または研修中の人）が行っている音楽療法セッションを紹介しています。
連絡先：日本音楽療法学会　和歌山県支部事務局
〒640-8441　和歌山市栄谷930
和歌山大学教育学部　菅道子研究室内
☎／fax073-457-7948

おんがくカフェ　ぱうぜ

主に就園前の親子を対象にミュージックセラピーを行っています。（日本音楽療法学会認定音楽療法士）ピアノや太鼓など様々な楽器を使ったり、ペープサートやスカーフを取り入れた遊びをしています。見学OKです。電話で問い合わせください。
日時：月曜　午前10時30分～11時
施設使用料として１回800円
連絡先：〒642-0023　海南市重根1170
📱090-1714-7703
E-mail　healok@docomo.ne.jp

ゆる～り

発達・知的障害を抱えた子どもたちを対象に音楽療法を行っています。
一人一人に応じたプログラムで、個人または少人数で行っています。
時間：日曜日　午前10時30分～午後３時30分の間で、予約制です。
場所：和歌山市新中通り１-37　スタジオカサデルパパ１F
連絡先：☎075-211-1725（事務所は京都です）
http://www.yuru-ri.com/

月謝：月２回　１回30分程度　個人・グループともひとり6000円

音楽療法　ドラムサークル

輪になって、たいこを自由に叩き、参加者が一体感を感じながら、楽しい時間を共有します。
子どもから高齢者まで、障がいがあっても、音楽の知識・経験がなくても、ファシリテーターがガイド役となって、誰でも楽しめるようお手伝いします。
子どもには音の楽しさや協調性の促進に、大人には、育児や仕事のストレス発散に、高齢者には健康維持、認知症の予防に一緒にたいこを叩きましょう♪

日時、会場

・エジソン（梶取）奇数月の最終土曜　11時～
　小学生以下500円　　中学生～大人1000円
・うらら（紀伊）　第一火曜日　11時～12時
　未就園児　500円　　その他の方　1000円
・ふれ愛センター（木広町）　偶数月の週末土曜か日曜　10時～　無料

HP　かんちゃんのドラムサークル
http://drumcircle-wakayama-kanchan.jimdo.com/

ミュージック・ケア

音楽の特性を生かしてその人がその人らしく生きることを援助することであり、子どもの場合は子どもの持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行います。赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあるなしに関係なくどなたでも対象となります。
すず・鳴子・バチ等の簡単な楽器を使い、音楽に合わせ心身に心地いい刺激を与えます。

日時・場所

みその「ほっこりさん」毎月第１木曜日　午前10時30分～11時30分
一人500円。

HP　かんちゃんのミュージック・ケア
http://music-care-wakayama-kanchan.jimdo.com/

スポーツ

和歌山県障害者スポーツ協会

中学生以上の身体障害者手帳・療育手帳を持っている人、またはそれに準ずる人を対象に、障害者の特性に応じたスポーツに親しめるよう教室を行っています。

場所：和歌山市毛見1437-218
　　和歌山県子ども・女性・障害者相談センター内体育館　他
連絡先：☎073-445-7314
時間：土曜・日曜が多いです。(年20回弱)
＊詳細はお問い合わせ下さい。

のびのびクラス

障害のある子どもたちのための体育クラスです。準備体操の他に様々な柔軟体操を取り入れ、「走る」「跳ぶ」といった基本的な運動を行い、体を思い切り動かしています。保護者の方と同伴でお越し下さい。

時間：午後３時～４時（月２回）
場所：海南市民会館
対象：小学１年生～６年生
条件：保護者同伴
持ち物：運動のできる服装、着替え、水分、タオル、上履き
連絡先：特定非営利活動法人　和歌山YMCA　ウェルネスセンター
　　〒640-8323　和歌山市太田１丁目12-13
　　☎073-473-3338　fax073-473-2666

G-sports

ボクササイズや体幹トレーニング、トレーニング器具を取り入れたフィットネスジムです。受給者証がなくても利用できます。

時間：午後５時30分～８時30分（木・日・祝休み）
利用料：6480円（月４回）　入会金
連絡先：株式会社　真道
　　〒640-8305　和歌山市栗栖636
　　☎073-499-7905
　　E-mail　shindou_go_0718@yahoo.co.jp

スイミング

海南市民温水プール

障害を持つ小学生と、身体に障害のある方（年齢制限なし）のクラスがあります。必ず電話で確認の上、参加してください。

場所：海南市且来1387-3

連絡先：☎073-483-8731（海南市民温水プールNPO海南市水泳協会）

＜小学生クラス＞

時間：土曜日　午後１時～１時45分

受講料：月2600円　　※申し込み時に面接があります。

＜身体障害の方クラス＞

時間：第３土曜日　午後５時～６時

参加費：１回500円

※手帳の提示が必要です。

絵画

田辺絵画教室

発達障害を持っている子どもを対象にしたクラスがあります。親子で参加することが多いです。

場所：和歌山市延時60-9　　連絡先：☎073-455-0399

時間：毎週土曜日　午前９時～12時（月２回）

月謝：月2500円

心理画を中心とし、自分の気持ちを表現してセラピーを行います。

子どもだけで参加するクラスもあります。障害があってもひとりで参加できる子どもはこちらに通うこともできます。

時間：月・水・金（時間については直接お問い合わせ下さい）

月謝：月3000円

アトリエ７つの音

場所：海南市馬場町１－２

連絡先：☎073-482-3114

＜一般クラス＞

時間：月曜～木曜　午後１時～午後７時

　　土曜・日曜　午後１時～午後７時

月謝：月４回　6000円

（４回を超える場合は、１回につき1500円追加。）
＊陶芸教室もあります。

ほっとチョコレート

中学生以上～大人の、おもに発達・知的にとまどいのある人を対象に行っています。
絵画を中心に作品を作り、個々の想像力を養います。
場所：和歌山市中央コミュニティセンター（和歌山市三沢町1-2）
連絡先：📱090-2702-9733（松本さん）
時間：毎週土曜日　午前10時～12時
費用：１回1000円（おやつ・材料費込み）
※一日コース（午前10時～午後４時30分）随時受付中。（１回3500円）緊急時にご利用ください。（午後は『ほっとタイム』）

体験活動

ほっとタイム

中学生以上～大人の、おもに発達にとまどいのある人を対象に『自立に向けての体験活動』『憩い、趣味』などの場として開催しています。
工作・手芸・いけばな・お茶等個々に応じた活動や、買い物・掃除等生活習慣を身につける活動、おやつ作り、散歩などいろいろな体験活動ができます。
場所：和歌山市中央コミュニティセンター（和歌山市三沢町1-2）
連絡先：📱090-2702-9733（松本さん）
時間：毎週土曜日（第５土曜日は基本的に休み）　午後１時30分～４時30分
※随時参加可。１回のみ参加も可
費用：１回1250円（おやつ・材料費込み）

STEP/おくやま子ども会

和歌山大学の学生サークルです。
月に１～２回、知的障害のある子ども（20歳未満の子ども）たちを集めてさまざまな活動をしています。それが「おくやま子ども会」です。
子ども会中はボランティアの方が子どもたちに１対１でつきます。
また子どもがおくやま子ども会に入会すると同時に保護者は子ども会の親の会へ入会することになります。
親の会では学生や保護者同士の交流会が開かれます。

問い合わせ：stepokuyama@yahoo.co.jp

障害児学童クラブ　おもちゃくらぶ

障害のある子どもたちの長期休暇に、様々な体験活動の機会を提供しています。活動にはボランティアが付き添い、子ども達と一日過ごします。（初めて参加される場合は，慣れるまで保護者の方、もしくは介護者の方の付き添いが必要です。）
参加に関しては、事前カンファレンス、登録書類の提出が必要です。
保険代、活動費、材料費等が必要です。

お問い合わせ：特定非営利活動法人　おもちゃばこ
〒649-6264　和歌山市新庄166-23
☎073-477-3282　fax073-494-3270

オレンジキッズ

病気や障害を持つ子どもへの理解を広めるために、人形劇による啓発活動を行っています。現在は、小児白血病啓発を目的とした人形劇「だいじょうぶ、まいちゃん」を上演しています。来年度以降、発達障害啓発を目的とした人形劇も公演予定です。
メンバーは和歌山大学のOB、OGが中心となっていますが、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。和歌山市内で毎月1回定例会、年に5回程度公演活動やイベント等に参加をしています。

連絡先：事務局　永井祐也
090-9992-0952
E-mail　operson0506@yahoo.co.jp

医療機関

発達について心配なことがある、診断をしてほしいという時には医療機関を受診することになります。医療機関によって、内容や対象年齢が異なります。また紹介状が必要な場合もありますので、まず問い合わせてみましょう。ほとんどの病院は予約制です。

和歌山市

愛徳医療福祉センター
和歌山市今福3-5-41
☎073-425-2391　fax073-426-1044
http://aitoku.or.jp/
身体に障害を持ったり、ことばや運動の発達・コミュニケーションや社会性の育ちが気になる子ども達を対象にしています。
診察の上、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・発達評価を含めた心理相談などを行っています。
心身両面にわたる療育を通して、子ども達が本来持っている可能性を伸ばしていけるような、総合的なリハビリテーションを目指しています。

琴の浦リハビリテーションセンター附属病院
和歌山市毛見1451
☎073-444-3141　fax073-444-9792
http://www.kotonoura.or.jp/
理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。身辺自立や感覚運動の発達を促すための治療を行います。また運動障害や発達障害などさまざまな障害児に対し個別に対応、治療を行っています。

角谷リハビリテーション病院（医療法人スミヤ）
和歌山市納定10- 1
☎073-475-1230　fax073-475-1231
http://www.sumiya.or.jp/
理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。遊びの様子や発達検査で心身の発達を評価し、その上で適切な対応の仕方を家族といっしょに考え取り組みます。乳幼児では、集団生活でコミュニケーションや社会性の発達が気に

なる場合、集団コミュニケーション指導（グループ指導）も行っています。

進正会　寺下病院

和歌山市和歌町22

☎073-436-5522　fax073-426-1377

http://terashita-hospital.com/

理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。ことばのおくれや障害のある子どもさんの心身について検査と治療、相談を行います。

リハビリテーションとは

琴の浦　リハビリテーションセンター　若竹園

私たちの体は、感覚を受け取って運動が起こるというシステムで動いていますが、発達障害の場合それらがうまく機能していないようです。

「発達障害」は、感覚（視覚、聴覚、味覚、臭覚、痛覚、触覚、圧覚や運動感覚など）センサーの不具合の問題を必ずと言って良いほど持っています。その結果、問題をいっぱい抱えてしまっているのです。

リハビリテーションは、理学療法士（ＰＴ）や作業療法士（ＯＴ）、言語聴覚士（ＳＴ）などのセラピストが行います。運動がぎこちない場合はＰＴ，不器用な場合はＯＴ，コミュニケーションや食事の問題はＳＴが相談に応じます。それぞれの専門分野で詳しい発達検査も行い、連携して発達障害の支援にあたります。

若竹園では、PT・OT・ST・保育士が連携して常に密な情報交換を行い児童に対して最良の療育を行えるよう努めています。

和歌山県立医科大学附属病院小児科

和歌山市紀三井寺811-1
☎073-447-2300　fax073-441-0515
http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital/index.html
医療機関からの紹介を受けて受診してください。
原因の精査と発達の精査を行います。
希望があれば心理士による発達サポート、カウンセリングも受けられます。

生協こども診療所

和歌山市有本144-17
☎073-476-4455　fax073-476-4476
http://www.wakayama-coop-h.com/kodomo/
発達相談・外来
子育てをしていて、育てにくさを感じたり、集団の中に入りにくかったり、学校の学習についていきにくいといったお子さまの発達について相談をお受けし、医師と心理士が援助させていただきます。
診療時間：月・水・金曜日　午前９時～11時30分（受付は８時30分～）
　　午後４時30分～７時（受付は４時～）
　　火・木・土曜日　午前９時～11時30分（受付は８時30分～）

月山チャイルドケアクリニック

和歌山市小松原通1-3
☎073-423-2300　fax073-423-4000
http://www.mikazukikai.jp/

こやま小児科

和歌山市匠町29　小山ビル３F
☎073-431-1158　fax073-431-2556
http://www.koyama-shounika.jp/
小児疾患全般の一般診療のほか、心理療法を用いたカウンセリングも行っています。からだと心は密接につながっています。子どものちょっとした「腹痛」や「頭痛」の原因が心にある場合もあります。

日本赤十字社和歌山医療センター小児科

和歌山市小松原通4-20
☎073-422-4171　fax073-426-1168（いずれも代表）
http://www2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/
外来や病棟診療の中で、子どもの発達や子育てについての相談を行っています。必要に応じて心理士による面談や発達検査もします。初診は月～金の午前９時～11時30分に小児科外来を受診してください。紹介状がなくても受診できますが、ない場合は別料金が必要です。

みずこしこどもクリニック

和歌山市弘西790-1
☎073-462-2121
診察時間内でも子育ての相談に応じていますが、発達等で気になることがある場合は事前に電話をしてご来院ください。
診療時間：月、水、金曜日　午前９時～12時、午後３時～６時30分
火曜日　午後３時～６時30分　　木・土曜日　午前９時～12時
休診日　日・祝　臨時休診あり

生馬（いこま）医院　小児科

和歌山市吉田436
☎073-422-1458
当院で診断し、行動療法～必要に応じて薬物療法を行いつつ、適宜、療育やソーシャルケア、作業療法等の必要性を吟味して、学校や外部機関と連携して診療を行っています。
診療時間　予約外来
月、火、水、金　午後12時～午後１時、午後７時～８時
木、土曜日　　午後12時～午後１時、日曜日休診

やまもとクリニック　小児科

和歌山市秋月570
☎073-471-0204
診察の際に発達の相談を受けています。相談があるときは事前に電話で時間予約をお願いします。
診療時間　小児科外来　月、水、金　午前９時～12時

海 南 市

海南医療センター　小児科

海南市日方1522-1
☎073-482-4521　fax073-482-9551
http://kic-kainan-hsp.jp/
精神運動発達の遅れ（障害）の子どもの発達をサポートします。保健所や医療機関からの紹介制です。臨床心理士による発達検査、発達相談を行っています。

さくらクリニック

海南市鳥居１－１
☎ 073-484-5101
fax 073-484-5011
リハビリテーション科直通
http://www.sakuraclinic.org/
身辺自立や、ことば・コミュニケーションなど、発達の上で気になる部分を抱えているお子さまの作業療法・言語聴覚療法を行っています。発達検査・評価を行い、個別での治療を行っています。まずは上記の電話番号に診察予約を入れてください。

岩 出 市

和歌山つくし医療福祉センター（社会福祉法人 和歌山つくし会）

岩出市中迫665
☎0736-62-4121　fax0736-62-8185
http://wa-tukusi.jp/wakayamatukusiiryofukusisenta/index.html
小児科、児童精神科、リハビリテーション科
臨床遺伝・発達障害外来があります。
理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。
診療時間：平日　午前９時～午後６時（日、祝休み）
予約制です。☎0736-62-0080（午前８時30分～午後５時30分）
初診の際診察情報提供書（紹介状）が必要です。

紀の川市

紀の川市　公立那賀病院　小児科

紀の川市打田1282

☎0736-77-2019　fax0736-77-4659

http://www.nagahp.jp/

かかりつけ医さんの紹介状をもって来院してください。日を改めて、臨床心理士による、発達検査を行うことができます。

小児科医師の立場から

生馬（いこま）医院　副院長
小山　博史

【障害って、何だろう、普通って何だろう。】
発達障害とは、社会性の障害を持つ自閉症研究の中から明らかになってきた、新しい概念です。それまでは特に異常とは考えられず、性格の問題とみなされていた人も詳しく分析すると、旧来の自閉症の特徴の一部が認められるということから、最近はより軽い人も診断の範疇に入るようになってきています。
【社会適応って何だろう？】
社会適応とは、幼いうちは家族や親族たちと、そして、４歳以降は親族以外とのコミュニケーションができるかと居場所が確保できるかだと思います。そして、家族以外の居場所で求められる振舞いは、昔と今ではかなり変わってきています。
今から40年以上前の社会状況を考えると、自営業が多く、そこでは、一徹親父、頑固おやじのお店など良く見かけたと思います。国鉄などの国営企業の窓口では、お客さんが窓口対応の職員に逆に叱られたりしていました。でも最近は自営業でも、企業でも、お客さんの気持ちになって対応できていないと非難されたり、売り上げが減ったりすることもあります。おかげで、窓口の対応は劇的に改善され、海外からの旅行者も、日本の店員の対応に驚いたりしています。
しかしそれは、逆に考えると、昔より格段に社会性（相手の気持ちを察する）を要求される社会に変わってきたという事が言えると思います。学校や幼稚園、保育園だってそうです。1950年より昔は、学校（特に中学校）へ行かない事は異常ではありませんでした。お金が無くて、働かなきゃならないなどの理由で学校に行かない人はいくらでもいて、家の仕事を手伝っていて、他人と勉強する場に無理に居る必要は無かったわけですし、幼稚園や保育園に行く人は少なく、そんな年齢の子どもに社会性を求めるなど、ありえなかったはずです。多動な子どもがいても、昔は気になりませんでした。
そう考えると、いまの発達障害は、今の社会が作り上げた障害だとも言えます。普通というものには固定した概念などなく、障害の概念が社会の変

化によって増え、それにあてはまらない時、普通なのだという事が言えると思います。
私たち医療者は、社会適応が出来ない子どもに対して、低コストで社会支援（療育や訓練など）を受けられるため、診断名を付けざるを得ません。
『わが子に障害があるとなった場合、就職、結婚に問題とならないか心配』と言う気持ちも良く聞きます。社会適応を支援するために診断をつけなければ福祉の適応がおりないから診断を付けただけなのに、その診断を付けたことによって逆に社会適応が阻害されてしまうという本末転倒は、時代とともに、現在と昔の障害の意味の違いが広く認知される事で変わっていってくれるものだと信じていますが、現時点で御両親が不安を持つ事は当たり前のことだと思います。
発達障害の子どもは、問題行動や、親が子どもを理解できない事、手がかかりすぎる事が多すぎて、親の『子どもをかわいい』という気持ちが圧迫され、叱られる事が増えます。そうすると、子どもの性格に悪影響が出たり、上手な振る舞い方をおしえてもらえないために（適応できる能力があるのに）できなかったりします。そんな子どもも早い時期から医療者の介入によって、子どもの問題行動の理由を知り、対処方法を教えてもらえれば、それだけ児へのストレスをかける事なく、育てる事ができるようになってきます。
子どもだけでなく、すべての人間は、人に褒められたり、感謝されたり、励まされたり、気遣ってもらえたり、認められたり、達成できたり、表彰されたり、尊敬されたり、気持ちを理解してもらえたり、自分の興味を満たせたりすることに喜びを感じて、前に進もうとしますが、発達障害の子どもは、上手く振る舞えないために、それらをもらえなかったり、足らないと感じている子どもが多く、十分もらえないから、さらに社会を避ける事で、社会性の発達が遅れ、ひどい場合は、親や社会を憎むようになってきます。
私たち医療者は、どんな育ち方をするにせよ、社会を憎むような子どもにだけはなってほしくないという思いで仕事をしています。
発達が気になれば、専門家に早い段階で相談し、その子が発達障害であろうが、なかろうが、疑わしいなら発達障害児への関わり方や発達を促す方法などを教えてもらい、実践していくことだと思います。
ぜひ、発達外来を受診してみてください。

＜歯科＞

なんらかの障害を持っている場合歯科受診が大変なことも多いですね。そんなときはここに相談してみましょう。

和歌山県障害児（者）高齢者歯科口腔保健センター

和歌山市手平２丁目1-2　県民交流プラザ和歌山ビッグ愛１階
☎073-435-5190
診療日：日曜日・木曜日
時間：午前10時～午後４時
　　予約受付時間　午前10時～午後４時

医療法人ウェルネス　小畑歯科医院

和歌山市福島324-1
☎073-455-9874
何らかの障害等で治療のしにくい人たちのための歯科治療を行っています。時間をかけて子どもが理解できるよう配慮しながら治療を進めています。
診察日：月～土（日・祝休診　診察は予約制）
時間：月～金　午前９時～12時・午後２時～６時30分
　　土　午前９時～12時

発達障がい児のための歯科医院利用法

医療法人ウェルネス小畑歯科医院
院長　小畑文也

「キィーン、ガリガリ」。歯科医院といえば、痛くて恐いイメージがある。実際そうかもしれないが、予防歯科に熱心に取り組んでいる歯科医院を体験すれば、今までのイメージが少し変わる。そこでは患者さんと診療室のスタッフが楽しそうに会話し、笑い声まで聞こえてくる。そんな雰囲気の中で、虫歯や歯周病の予防や健康管理処置が進められている。大人でも子どもでも治療は痛いが、予防処置は痛くない。だからこそ発達障がい児こそ予防のために地域の歯科医院を定期的に利用してほしい。そうすれば、たとえむし歯予防に失敗しても、早期発見で簡単な治療ですむ。何よりもその頃には先生や歯科衛生士のお姉さんになれて、診察台に寝転んで大きな口を開けられるようになっているのだ。

さて、むし歯のリスク要因とその対策は年齢に応じて変化する。２～３歳頃から小学校卒業頃まで、予防や治療が無理なく受けられるよう、トレーニングをかねて定期的に歯科医院に通院することが大切になる。家庭でのむし歯予防の第一は、おやつやジュースの頻度や就寝前摂取の問題が大きい。その次はフッ化物の利用となる。また歯磨きへの過度の期待から、ムキになって口を磨く傾向があるが、そのためブラッシングへの拒否行動が出てくることがある。ブラッシングに熱心になりすぎず、「口の中で遊ぶ」くらいの認識から始めるとよい。

以上のような考え方は治療から入るケースも含め、健常児も障がい児も同じである。歯科医院選びについては、全身麻酔や抑制具による治療を期待するのでなく、待ち時間への配慮や視覚支援、カウントダウンなど障がいの種類や発達レベルに応じた配慮があり、歯やお口の健康について何でも気軽に相談できる歯科医院を、また少し聞き分けの悪い子どもでも、根気よく丁寧に診てくれそうな歯科医院を探すのもよい。

＜耳鼻咽喉科＞

さかい耳鼻咽喉科クリニック

一般診療所では難しい乳幼児や発達に課題のある子どもの診療、聴力検査を行うことができます。主に難聴をもつ子どもの言語訓練を行っています。
子どもの難聴と言葉の発達、構音障害について相談を受けています。
難聴の子どもさんに対して発達検査を行っています。（発達診断は行っていません）

紀の川市貴志川町井ノ口1576-1
☎0736-67-7233　fax0736-79-3567
診療予約電話番号　18606-4560-5222　インターネット予約有
診療時間：月曜　午前８時30分～11時30分、午後５時～８時
　　火曜　午前８時30分～11時30分
　　水・金曜　午前８時30分～11時30分、午後３時～６時
　　（難聴外来併設）
　　木曜　午後５時～８時
　　土曜　午前８時30分～11時30分
休診日：木曜午前、土曜午後、日曜祝日

だけクリニック

聞こえが気になる、言語が気になる子どもさんは専門機関に紹介します。
和歌山市蔵小路15-1
☎073-402-4351　fax073-402-4352　インターネット予約有
診療時間：月・火・水・金　午前９時30分～12時30分
　　午後３時30分～６時30分
　　木・土　午前９時30分～12時30分

オレンジクリニック木村耳鼻咽喉科

和歌山市向151-4
☎073-457-1133　fax073-457-1187
診療予約電話番号050-5533-6367　インターネット予約有

発達に課題のある子どもの診察や聴力検査を行っています。また、お母さんた

ちにも気がねせず、安心して来ていただけるクリニックを心がけています。
診療時間：月・水・金曜日　午前８時30分～12時、午後４時～８時
　　火・木曜日　　午前８時30分～12時、午後休診
　　土曜日　　午前８時30分～午後１時
休診日：日・祝

子どもの病気やけが、歯科治療などで受診するとき

かかりつけの小児科医、歯科医をもちましょう。

かかりつけを持つことは、子どもが手順を覚え見通しを持って受診するためにも、医師や周囲の人に付き合い方を覚えてもらうためにもいいことです。ママパパが安心感や居心地のよさを感じられる、コミュニケーションをとりやすい医師、医療機関を探しましょう。

受診するときのワンポイントアドバイス

・受診の際は保険証などを忘れないようにしましょう。
　また母子手帳や通院歴、病歴、生育歴を整理して持っていると問診の時に役に立ちます。
・子どもがなるべく不安にならないよう工夫しましょう。
　受診の手順や見通しを視覚的に提示したり、また不意打ちは避けるなどの工夫をしましょう。
　受付の人にお願いして、車の中で順番を待つという方法もあります。
・質問したいこと、気になることを書き出して整理してから受診しましょう。短い診察時間でも子どもの気になっていることに関連したエピソードを上手に伝えると診断の役に立つことがあります。
　あらかじめ、好きなことや苦手なこと、コミュニケーションや、行動の特徴などをまとめたものを用意しておくのもいい方法です。

親の会

親同士のつながりは力になります。周りの人には話しにくいことも話せたり、情報交換ができたり、仲間ができることで勇気が出たり、子どもへの理解も深まるでしょう。ぜひ一度参加してみませんか。

自閉症協会

和歌山県自閉症協会　問い合わせ　☎073-432-2361（藤原さん）
和歌山県自閉症協会　和歌山市分会　☎073-422-0778（江川さん）
http://asw.yu-yake.com/
NPO法人和歌山県自閉症協会では自閉症児・者に対する援護・育成とともに、社会のより広い理解と、家族も含めより暮らしやすい地域づくりを目指し活動しています。
和歌山市分会では自閉症児・者とその家族の交流を深めるつどいやバス旅行などを行ったり、親のための勉強会などを開催しています。

ドラえもんの会（ADHDの子どもを持つ親の会）

連絡先　大岡さん　☎073-483-6960
　　北村さん　☎073-483-7868
定例会：毎月第２土曜日（８月は休み）午前10時～11時45分
海南市民会館で行っています。
部屋を２つ借りているので、保育が必要な子どもまたは悩みを聞かれたくない子どもさんは別室で預かることが可能です。（その場合は前もって連絡が必要です）
ADHDだけでなくほかの障がいと重複している子どもも多いです。子どもの年齢に関係なく参加OKです。

〔北村さんより〕
子育ての大変さを子どもに向けるのではなくこの会でストレスを出してほしい。困っていることなども出してください。

発達障害の子供を持つお母さんの交流会

連絡先　☎／fax073-444-6787
E-Mail　aichin-youman@ezweb.ne.jp（日浦さん）
☎073-471-5124（西浦さん）

発達障害（アスペルガー・AD／HD・自閉症・高機能自閉症）を持つ子どものお母さん達の交流会です。未就園児から高校生までの子どもの母親が集まっています。家族、友人も参加OK。
お友達との関わりが苦手な子の放課後の過ごし方、デイサービスの事、先生の事、困った時の解決方法など、情報交換の場を作っています。
「自閉症協会・和歌山市分会」が運営している「お母さんの交流会」ですが、会員では無い方も自由に参加して頂けますので、気軽にご参加ください。

子育てほっとルーム（保護者の相談会）

連絡先　☎073-422-2235　川口さん
対人関係、コミュニケーション、行動面や学習面の苦手さ、不登校、不安など様々な課題についての相談会を和歌山大学の武田鉄郎先生をお迎えして行っています。
場所：和歌山市中央コミュニティーセンター　活動室３
日時：毎月第３水曜日　午後６時～９時半
（２、３月、８、９月はありません）

〔子育てほっとルームより〕
子どもの理解や関わり方、連携の方法など具体的に伺ったり、互いの経験を出し合ったりして、時間が経つのを忘れてしまいます。
どなたでもお気軽にご参加下さい。

ほっぷ（和歌山県ＬＤ等発達障害親の会）

発達障害など、困り感を持つ子どもや青年の親の会です。（平成23年５月設立。全国ＬＤ親の会にも正会員として加盟しています。）座談会や情報交換をして交流しています。

定例会：原則第４日曜日　午後１時30分～４時

連絡先：☎073-425-2625　事務局　山本

e-mail　wld_hoppu@yahoo.co.jp

場所は決まっていませんので、上記メールかブログ（http://blog.canpan.info/wld-hoppu/）にてご確認ください。

てぃーだちゃいるど

障害の種別は問いません。個別の相談も受け付けています。社会福祉協議会（海南）や地域の小学校等に招かれて講演を行ったり、その後の交流会も開催しています。他にも人権啓発映画等の自主上映にも取り組んでいます。今後は親の交流会を定期的に行っていきたいと考えています。

連絡先　📱090-9873-3060　代表　鈴木寿美

〔てぃーだちゃいるどより〕

障がいの種別に関わらずまた障がいのあるなしに関わらずどの子も共に成長できる、みんなで育てあう社会になる事を願っています。

海南たんぽぽの会（障害児者の会）

連絡先：事務局　📱090-2041-6898

海南市役所　社会福祉課　☎073-483-8602

障害の種別、年齢は問いません。本人とその家族の会です。定例会、親子教室、施設見学、勉強会、交流会、和太鼓サークルなど様々な活動を行っています。

会費：年会費　１家族3000円

＊見学、行事の案内については、気軽に問い合わせて下さい。

厚生労働省のペアレントメンター養成研修（和歌山県主催）を受講したメンバーで構成された親同士の支え合いの会が発足しました。

わかやま ペアレント・メンター

ペアレント・メンターって何？
→「親による親のための相談者」

～ 発達障害の家族に向けた、同じ障害の子を持つ家族同士が互いにうまく支え合う仕組み ～

同じ障害児を育てている親として悩みに寄り添い共感します

専門機関での相談のきっかけ作りとなるよう、可能な範囲での支援を行います

発達障害とその支援に関する情報の提供を行います

地域のリソースに関する情報の提供を行います

こんな活動をします

茶話会・座談会でのグループ相談

親子教室の保護者会、親の会、機関での学習会等で開催される茶話会や座談会に入り、お話を聞きます。保護者の方の悩みを聞き寄り添いながら共感し、経験談をお話したり　支援ツールや地域資源の情報提供を行います。

※ ペアレント・メンターは問題解決のための助言を行う専門家ではありません。同じ親として精神的な支えになることを目指します。

※ 電話相談や個別相談は行っておりません。

－ お申込み先 －

◎ 和歌山県相談支援体制整備事業アドバイザー ◎

和歌山市/海南・海草圏域：社会福祉法人あおい会（松岡）　TEL：073-483-0454　FAX：483-0474
〒642-0001　海南市船尾 438

問い合わせ先：
和歌山県発達障害者支援センター　ポラリス（辻）
☎ 073-413-3200　fax073-413-3020

てぃーだちゃいるど

代表　鈴木寿美

「てぃーだちゃいるど」とは…沖縄の方言で「てぃーだ」とは「太陽」の意味になります。
直訳すると「太陽の子ども」になります。
子どもは、皆んな太陽のような存在だと思っています。
そして、どんな子どもも光の存在であり、この世に産まれてくるのには意味がある事だと思っています。
てぃーだちゃいるどは、障がいをもつ子ども達を広く社会や地域に理解してもらえるように、講演会や人権啓発映画などを開催する活動をしています。
子ども達が、社会と共存できるように、生きていく意味をもてるように、子育て中のお母さんがリラックスできる場所、前向きになれる場所をつくっていきたいと考えています。
私自身、ダウン症の娘（中学２年生）の母親でもあります。
娘は、生後５日目に「ダウン症の可能性があるので、なるべく大きな病院で検査して下さい。」と産婦人科の先生から言われました。
その時の心境は、言葉では表せない気持ちでした。
絶望感、喪失感、不安…色んな想いが頭をいっぱいにしました。
先生の間違いであって欲しいと、検査結果が出るまでの間、心ここにあらずの不安な状態を過ごしました。
一ヶ月ほどがたって検査結果を聞いた時に「やっぱりそうだったんだ」と少し前向きに受け入れる。娘を受け入れる。そんな心が芽生えたように思います。
娘が産まれて14年…。
今までのわたしは自分にも、それから上の子どもにも厳しいゆとりのない時間を過ごしていました。
人と比べることや出来ない事があるのは、自分に甘く、なまけているとさえ思っていました。
娘（ダウン症）が産まれてからは、成長がゆっくりの娘のペースにあわせることで今までの自分を振り返る時間ができました。

その中で人と比べる事がどんなに子どもたちを追い詰めていたのか気づかされました。
子どもを自分の所有物のように思い通りにしようとしていたのです。
子どもの人格を無視した子育てをしていたのです。
娘（ダウン症）を育てながら自分も育ててもらっていたのです。
障がいをもつ子ども達が、社会に出た時に、健常といわれる子ども達とお互いに支えあって生きていけるような社会、環境が整ってくれる事を願います。
皆んなが、夢や希望をもてる社会になるように、手を繋いでいける世の中になりますように…。

Book review

「ダウン症の娘はフラガール」 鈴木寿美著

お問い合わせは、メールで、
fulagirl_1106@yahoo.co.jp まで

障がいを持つ子どもの“きょうだい”

親は障がいを持つ子どもと常に真剣に向き合っている分、目も手もそちらに向いていることが多くなり、また時には疲れきってしまうこともあります。そのしわ寄せがどうしても“きょうだい”にくること自体はしかたないことかもしれません。

でも日常の中でその親(特に母親の負担は大きくなりがちですね)の姿を見ている“きょうだい”は、遠慮したり、「いい子」を演じたり、母親を助けようと必死に我慢していることがあるのも事実でしょう。
障がいを持つ兄弟姉妹が行動上の障がいをあわせもつ場合そのことも“きょうだい”はとてもつらく感じています。たとえばいっしょに遊ぼうと近づいたら突然乱暴されたりきつい言葉を投げかけられたり、いっしょに出かけた先や学校等で兄弟姉妹が激しい不適応行動をとったり等、理解しにくい、また理解されにくい経験を積み重ね、心身に傷を残してしまうこともあります。
それらの寂しさやつらさを我慢していてもいつか爆発する時がきます。

彼らのことを平等に愛しているということを折にふれてきちんと言葉にして伝えてあげましょう。あえてそう伝える必要があるほど“きょうだい”は不安な気持ちを抱えています。
“きょうだい”の話をゆっくり聞く時間を毎日少しでも作り、障がいのある兄弟姉妹のことで感じたつらさに共感してあげる等も愛情を伝えるためには必要です。
また時には意識的に“きょうだい”に焦点をあてたり、“きょうだい”と親だけの時間をつくるなどして、わがままを言ったり甘えたり、したいことを思い切り楽しんだり、安心して子どもらしく過ごせる体験を大切にしてあげましょう。

親はつい“きょうだい”が自分たちと同じように障がいのある子どもの支援者であることを期待してしまいがちです。しかしその前に、まず平等に

自分たちの子どもであるということを忘れないことです。その姿勢が前提としてあってはじめて、障がいを持った兄弟姉妹には特別な援助が必要でありそれは不平等ではないということが素直に理解されるでしょう。

子どもたちの年齢とともにきょうだいの関係は変化していきます。その年齢に応じて障がいの内容、それぞれの子ども自身の将来の見通しなどについて話し合ったり、説明する機会を持ちましょう。わからないことは専門家などにも聞いてみてください。

できればよいきょうだい同士としてお互いに支えあっていきたいと思える関係を作っていけるといいですね。

福祉制度

福祉制度は国が行うもの、地方自治体が行うもの、民間が行うものがあります。

和歌山市で受けられるサービスや優遇措置についてまとめた障害者（児）福祉のしおりやパンフレットがありますのでじっくり見てみましょう。
手帳取得時などにもらえます。
何か公的なサービスを受けようとする場合、多くは申請しないと受けられません。
情報も基本的には自分で得なければならないので大変な面もありますが、しおりをよく見てわからないことはどんどん聞きましょう。また先輩ママなどにも聞いてみましょう。

障害者支援課（福祉事務所）（和歌山市役所内）

☎073-435-1060　fax073-431-2840
身体障害や知的障害を持つ人たちやその家族等からいろいろな相談を受けたり、必要な援助などを行う窓口です。

・児童発達支援事業や放課後等デイサービスの利用を希望するときはまず障害者支援課に相談してください。
・児童発達支援事業（乳幼児対象）
　親子で通ったり、子どもだけで活動したりとそれぞれの施設で特色があり、療育を目的とした施設です。送迎がある事業所もあります。
　　P 43～　児童発達支援事業
・放課後等デイサービス（小学生～高校生対象）
　障害のある学童が長期休暇や放課後に活動する場所を提供してくれます。
　　P 45～　放課後等デイサービス

手帳のこと

子どもの障害は受けとめられても、手帳を持つのは誰でもハードルが高く、なかなかふんぎりがつかないものです。
手当などのお金をもらうため、と思ってもなんとなく二の足を踏んでしまうという人も多いようです。
やっと母親が決心しても父親や祖父母がなかなか理解してくれないこともあるでしょう。
でも手帳を持ってみるといいところがたくさんあります。
とくに広汎性発達障害などの目に見えにくい障害をもっている場合、いくらことばで説明しても「気のせいじゃない？」「ちゃんとなんでもできてるのに」となかなか理解してもらいにくいことがあります。親の育て方のせいと思われることもあります。
そんなとき手帳を見せると、たとえば場にそぐわない発言や行動をした時にも障害として納得してくれ、また配慮もしてもらいやすくなります。本人や保護者の心理的なメリットがまず大きいです。
また手帳を持っていると、さまざまなサービスや優遇措置が受けられます。（医師の診断書が必要です。）
デイサービスや移動支援などのサービス、日常生活の支援、医療費の給付・助成、手当・年金などの経済的な支援、また税制上の措置や旅客運賃等の割引、公共料金の割引等があります。
受けられるサービス等は持っている手帳とその等級などによりさまざまです。
たとえば療育手帳B2と身体障害者手帳３級を持っているＡくんの場合、現在「放課後等デイサービス」、特別児童扶養手当（国制度）の給付を受けているそうです。また自動車税の減免を受けています。
申請しないと受けられないものがほとんどですので、しおりの最後についている一覧表などを参考に調べてみて、わからなければ遠慮なく「これは受けられますか？」と聞いてみましょう。
遊園地などの娯楽施設の窓口でも手帳を見せるだけで割引を受けられるところがけっこうあります。お出かけ先にどんどん聞いてみましょう。
家計的に助かるということもありますが、それよりもそのことでいろんなところに出かけるチャンスが増えるととらえて、子どもにいろんな体験をさせてあげられるといいですね。子どもが生き生きと育つためのひとつの方法として手帳について考えてみませんか。

手帳について

手帳は障害の度合いを示すものです。
障害の内容・程度によって取得できる手帳が異なります。

療育手帳

知的障害者（児）が療育の指導、援護の措置、福祉制度などを受けやすくするために交付されます。
必要書類を添えて市役所障害者支援課へ申請します。
申請ののち、和歌山県子ども・女性・障害者相談センターで障害程度の判定を受けます。

身体障害者手帳

現在認定される障害は、視覚障害・聴覚または平衡機能障害・音声、言語またはそしゃく機能障害・肢体不自由・内部障害の５種類です。
必要書類をそえて市役所担当課または係へ申請します。

精神障害者保健福祉手帳

精神障害のために長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある人が対象です。年齢による制限はなく、知的障害を伴わない発達障害も対象になります。
必要書類をそえて和歌山市保健所保健対策課に申請します。
手帳の有効期限は２年で、２年ごとに障害の状態を再認定し、更新されます。（和歌山市保健所　保健対策課　吹上５丁目２-15　☎073-488-5117）

受給者証について

障害者支援課および保健対策課で発行してもらいます。ヘルパーや短期入所の障害福祉サービスを受けるには、障害者手帳の所持が必要です。
児童発達支援や放課後等デイサービス等の障害児通所支援サービスについては、障害者手帳を持っていない児童でも、医師の診断書により利用が可能です。

その他の児童福祉施設について

ここまでに出てこなかった児童福祉施設についてご紹介します。
どの施設も行政との相談を経て、入所、通園が決定します。

情緒障害児短期治療施設
軽度の情緒障害を有する児童が入所し、短期間治療を行い、また退所したのちも相談その他の援助を受けることができる施設です。

みらい（社会福祉法人　虎伏学園）
和歌山市つつじが丘7-2-1
☎073-480-1043　fax073-460-8045

知的障害児施設・盲ろうあ児施設
知的発達障害のある児童、また視覚および聴覚に障害のある児童が入所する施設です。

有功ヶ丘学園（（福）和歌山県福祉事業団）
和歌山市園部381-2
☎073-455-3531　fax073-455-3532

医療型障害児入所施設
障害のある児童が入所し、医学的治療および訓練を行う施設です。

（主に肢体不自由児）
愛徳整肢園（社会福祉法人　愛徳園）
和歌山市今福3-5-41
☎073-425-2391　fax073-426-1044

（主に重症心身障害児）
めぐみの園（社会福祉法人　愛徳園）
和歌山市今福3-5-41
☎073-425-2391　fax073-426-1044

索引

あ
愛徳医療福祉センター 58
愛徳整肢園 81
あおい学園 17・29
あしすと→特）クロネット「あしすと」 49
アップル相談支援事業所 49
アトリエ７つの音 55
あんしあなとうデイサービスセンター 43・45
い
イケラ子育てチーム 9
生馬医院小児科 61
いさおKIDS 6
有功ヶ丘学園 81
う
ウィッシュ居宅介護支援事業所 49
医療法人ウェルネス　小畑歯科医院 66
え
エジソンジュニア 47
LD等通級指導教室 34
お
おもちゃ図書館 8
おもちゃくらぶ→障害児学童おもちゃくらぶ 57
親子教室 11
親と子の広場アン・ポコつどい 7
親と子の広場アン 17・22・43
親と子の広場ポコ 17・22・43
おれんじ倶楽部 47
オレンジキッズ 57
オレンジクリニック木村耳鼻咽喉科 68
音楽療法　ドラムサークル 53
おんがくカフェ　ぱうぜ 52
か
海南市民温水プール 55
海南医療センター 62
海南たんぽぽの会 72
カナの家 17・30・47
き
紀伊コスモス支援学校→和歌山県立紀伊コスモス支援学校 38
きずな→和歌山児童家庭支援センターきずな 16
北保健センター 4・10
キッズステーション 5
きっず☆なごみ 7
木のおうち→ふれ愛ルーム木のおうち 6
紀の国音楽療法研究会 52
紀北支援学校→和歌山県立紀北支援学校 37
きょう育の和センター 6
く
ぐりっとら 51
ぐるんぱ→ほっとルーム　ぐるんぱ 5
クロネット 43・45・47
特）クロネット「あしすと」 49
こ
こうまなかよしランド 6
公立那賀病院　小児科 63
５歳児相談事業 32・33
こじか園 17・28・49
子育てほっとルーム 71
琴の浦リハビリテーションセンター附属病院 58
ことばの教室 34
子どもメンタルクリニック 14
子どもと家庭のテレフォン110番 14
こやま小児科 60
さ
さかい耳鼻咽喉科クリニック 68
さかえkid's サポート 6
櫻→地域活動支援センター　櫻 48
さくらクリニック 62
さくら支援学校→和歌山県立和歌山さくら支援学校 38
さくらんぼ教室 47
さつきランド 6
さぽーと教室 34
サポートセンター「麦の郷」 48
さんさん広場 4
し
G-sports 54
指定障害児相談支援事業 49
児童デイサービス　あい 44・46
児童デイサービス　あい・らんど 44・47
児童デイサービス　こうさぎ 43・45
児童デイサービス　こぐま 45
児童発達支援センター 26
児童発達支援 43
児童デイサービスMiKU 46
児童デイサービス　雪うさぎ 44・46
児童デイサービス　フレンズ 45
自閉症協会 70
シャローム→相談支援事業所シャローム 48
就学相談 32
受給者証 80
障害者支援課 78

障害者スポーツ協会→和歌山県障害者スポーツ協会　54
障害児学童クラブ　おもちゃくらぶ　57
情緒障害児短期治療施設　81
しょうぶふれあい広場　6
特)自立生活応援センターわかやま　49
自立プラン　カーム　49
進正会　寺下病院　59
身体障害者手帳　80
す
すくすくルーム　4
STEP/おくやま子ども会　56
角谷リハビリテーション病院　58
すみれフレンド　6
せ
生協こども診療所　60
精神障害者保健福祉手帳　80
そ
相談支援事業所　48
相談支援事業所　さくら　49
相談支援事業所　フレンズ　49
相談支援事業所　シャローム　48
相談支援　菜の華　49
相談支援事業所　ともにー　49
た
第二こじか園　17・28・45・47
だけクリニック　68
田辺絵画教室　55
ち
地域子育て支援センター　6
地域活動支援センター　櫻　48
知的障害児施設・盲ろうあ児施設　81
ちゅちゅこっこ　9
つ
月山チャイルドケアクリニック　60
つどいの広場　5
つわぶき相談支援事業所　48
て
てぃーだちゃいるど　72
デイサービスステーション華菜　44・46
と
特別支援学校　37
トライルーム　34
ドラえもんの会　70
ドラムサークル→音楽療法ドラムサークル　53
ドレミひろば　5
な
なかのしま　6
中保健センター　4・10
なのはな・きっず　44・46・47
なのはな・ぷらす　44・46
菜の華→相談支援　菜の華　49
に
にこにこ相談室　4
西保健センター　4・10
日本赤十字社和歌山医療センター小児科　61
の
のびのび→森の広場　のびのび　6
のびのびクラス　54
は
ばあばのいえ　7
ハッピーステーション　45
発達障害の子どもを持つお母さんの交流会　71
はなのいえ　44
ハミング子ども教室　17・23・43・47
ひ
ひまわり園　29
ふ
ファミリー・キッズ　45
ファミリー児童デイサービス　45
ふぁんふぁん広場　8
ふれ愛ルーム木のおうち　6
フレンズ　45
フレンズ→相談支援事業所フレンズ　49
へ
ヘルパーステーション　クローバー　49
ほ
保育所等訪問支援事業　43・47
放課後等デイサービス　43・45
ぽけっと　45
保健センター　4・10
ほっとルーム　ぐるんぱ　5
ほっとタイム　56
ほっとチョコレート　56
ほっと広場　4
ほっぷ　72
ポピンズ→もうひとつのさとポピンズ　5
ほほえみ　44・45
ほほえみ相談支援事業所　49
ほほえみ・ぷらす　46
ポラリス→和歌山県発達障害者支援センターポラリス　15・73
ま
学びの丘→和歌山県教育センター　学びの丘教育相談室　16
み
みずこしこどもクリニック　61
南保健センター　4・10
ミュージック・ケア　53
みらい　81

む
麦の郷→サポートセンター「麦の郷」 48
麦の郷和歌山生活支援センター 48
め
めぐみの園 81
も
盲学校→和歌山県立和歌山盲学校 33・40
もうひとつのさとポピンズ 5
森の広場　のびのび 6
モンキー’sスクール 44・47
や
㈲ヤマックス 49
ゆ
ゆる～り 52
よ
ようすいランド 6
り
りん→和歌山圏域障害児者相談支援事業所りん 48
療育手帳 80
ろ
ろう学校→和歌山県立和歌山ろう学校 33・41
わ
和歌山県立若竹園 17・30
わかば♪ 5
和歌山市こども総合支援センター 13
和歌山県立医大　小児成育医療支援室 13
和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 14
和歌山県発達障害者支援センターポラリス 15
和歌山県教育センター　学びの丘教育相談室 16
和歌山児童家庭支援センターきずな 16
和歌山市における早期療育支援の流れ 17
和歌山県立紀北支援学校 37
和歌山県立紀伊コスモス支援学校 38
和歌山県立和歌山さくら支援学校 38
和歌山大学教育学部附属特別支援学校 39
和歌山県立和歌山盲学校 33・40
和歌山県立和歌山ろう学校 33・41
和歌山YMCA　シードクラブ 47
和歌山圏域障害児者相談支援事業所りん 48
和歌山県障害者スポーツ協会 54
和歌山県立医科大学附属病院小児科 60
和歌山つくし医療福祉センター 62
和歌山県障害児(者)高齢者歯科口腔保健センター 66
わかやまペアレント・メンター 73
和歌山市障害者支援課 78

コラム

親子教室へ～我が家の場合 12
ひとりじゃないよ～先輩ママのメッセージ～ 18
自閉症って何？ 20
乳幼児期は心の根っこを大事に 24
ママの声 28
一生懸命生きる～先輩パパからのメッセージ～ 31
子どもと学校 36
インクルーシブ教育って何？ 42
Book review「自閉症の僕が跳びはねる理由」 50
リハビリテーションとは 59
小児科医師の立場から 64
発達障害児のための歯科医院利用法 67
子どもの病気やけが、歯科治療などで受診するとき 69
てぃーだちゃいるど 74
Book review「ダウン症の娘はフラガール」 75
障害を持つ子どものきょうだい 76
手帳のこと 79

編集後記

核家族化がすすみ、子育てが伝承されなくなった現在、どう育てて良いのか思い悩む親が増えています。膨大な育児書や溢れるネット情報。我が子に障がいがあるかもしれないとなるとなおのこと、過多な情報に翻弄され、悩みは増えるばかりです。また、育てにくさやしんどさを周りにわかってもらえず、苦しんでいる親も少なくありません。
児童発達支援の現場では
・ことばがでない
・落ち着きがない
・すぐに手が出る
など、子どもの成長や発達に不安を持つ親子が集まり、戸外あそびやリズムあそび、製作を小さな集団で活動しています。
ある日、Ａくんの名前が呼ばれ、Ａくんが「はい！」。思わずＡ君のママとスタッフが顔を見合わせ、お互いの目には涙が。数ヶ月間通い、待ちに待った「はい」の返事でした。ほかのママも自然と笑顔になり、拍手が起こりました。感動の一瞬です。
また、通い慣れたママが、まだ緊張が取れない利用間もない親子に優しく話しかけているところを見かけます。話しかけられたママが、安心した笑みを浮かべている様子はとても温かく感じます。
親も子も泣いたり笑ったり、失敗しても許してもらえる関係、しんどさを遠慮なく話せたり共感できる仲間、そんな自分の居場所があることで子育てが少し楽になると思います。
子育て中のママに限らず、全ての大人に自分を出せる関係、場所や時間が必要ではないでしょうか。社会全体がそれぞれの生きづらさを受け止め、認め合い、ＳＯＳを気軽に出せる世の中になれば、子どもが豊かに育つ権利は保障されるのではないかと思うのです。
どの子も分け隔てなく楽しくあそび、健やかに育つことを心より願うと同時に、社会にどのようにはたらきかけるかが、支援者側の課題であると感じています。
今回も作成にあたり、たくさんの方々にご協力頂きました。本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。
このガイドブックが、特別な支援を必要とする方々にとどき、そして信頼できる人と出会い、繋がり合えますように。

右田有美（きのくに子どもＮＰＯ）

子どもの発達支援ガイドブック　てとて

発　　行：和歌山市
受　　託：特定非営利活動法人　きのくに子ども NPO
編集委員：石橋　恭代，江利川由喜、佐藤　百子、下村美穂子、
馬場　潔子、藤原　絹子、前田　響子、松田みはる、
右田　由美、矢野　紀子
表紙デザイン：原　　ミキ
マ ン ガ：岩崎　綾乃
イラスト：岩崎　綾乃・高瀬　裕子
発行年月：2016年３月

ささえるしくみ

乳幼児期

出かけてみませんか
→P4
保健センター
つどいの広場
地域子育て支援センター
きょう育の和センター
そのほかのお出かけ先

就園に向けて→P25
幼稚園、保育所（園）、
認定こども園

児童発達支援センター →P26
児童発達支援事業 →P43

就学について
↓
P32

就園前の早期療育支援
→P 22

スポーツやアートを楽しもう →P51

医療機関・訓練機関 →P58

親の会 →P70

気になることを相談しよう →P 10
保健センター （乳幼児健診、発達相談、親子教室）
その他の相談先

学童期

小学校・中学校
通級指導教室 →P34
特別支援学級 →P32
特別支援学校 →P37
児童福祉施設 →P81

放課後や休暇の過ごし方
放課後等デイサービス →P45
余暇活動 →P51

医療機関・訓練機関 →P58

親の会 →P70

相談支援 →P10、48

成人期

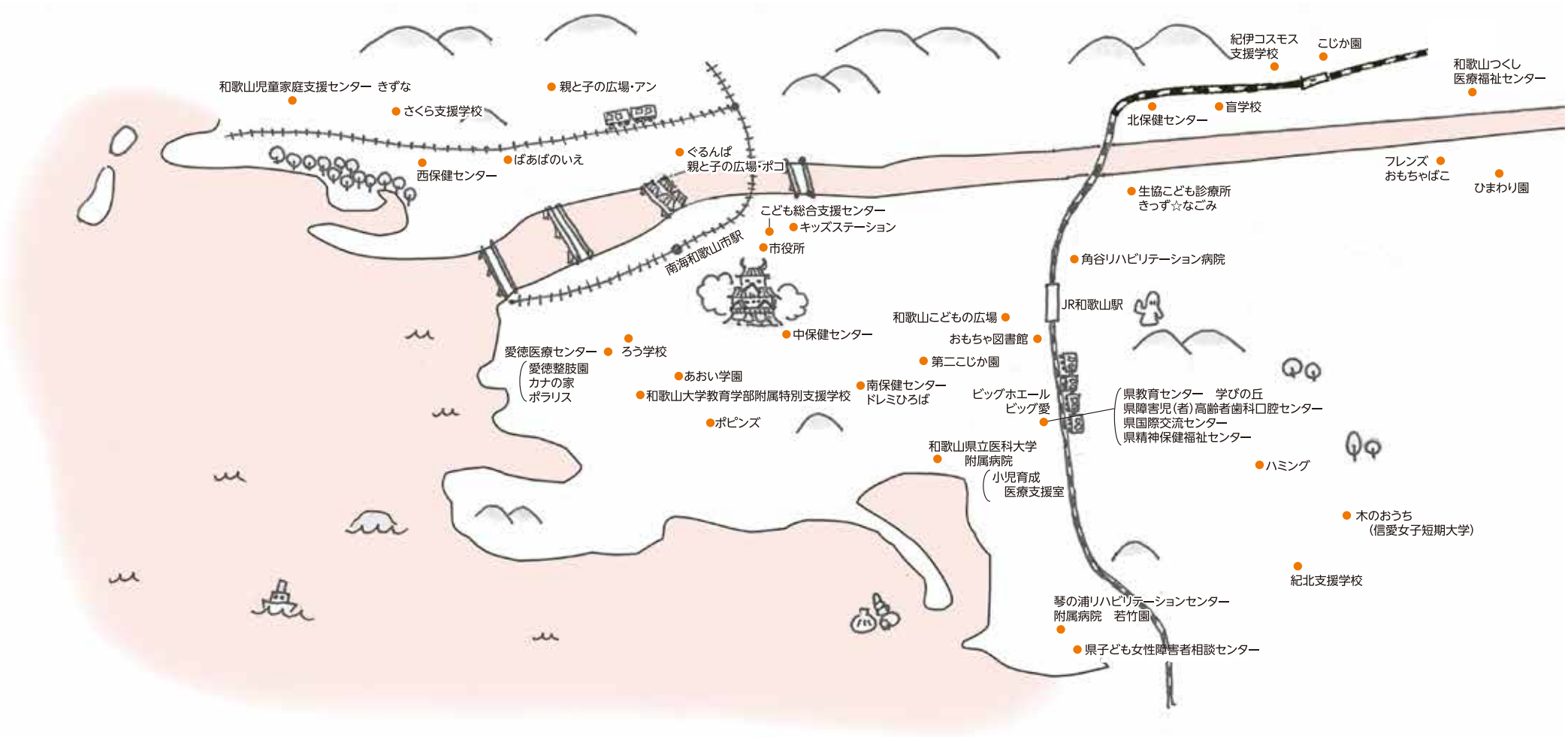
暮らしの場
- 家族と同居
  一人暮らし
- グループホーム
- 支援施設等

日中の活動
- 高校
  大学
  専門学校
- ホームヘルプや外出
  のサポートなど
- 仕事や居場所、
  昼間の活動の支援

医療機関・訓練機関 →P58

親の会 →P70

相談支援
和歌山市障害者支援課 →P78
和歌山市保健所 →P80
和歌山県子ども・女性・障害者センター →P14
相談支援事業所 →P48、49


和歌山児童家庭支援センター きずな
さくら支援学校
親と子の広場・アン
西保健センター
ばあばのいえ
ぐるんぱ
親と子の広場・ポコ
こども総合支援センター
キッズステーション
市役所
南海和歌山市駅
中保健センター
愛徳医療センター
ろう学校
愛徳整肢園
カナの家
ポラリス
あおい学園
和歌山大学教育学部附属特別支援学校
ポピンズ
南保健センター
ドレミひろば
和歌山こどもの広場
おもちゃ図書館
第二こじか園
ビッグホエール
ビッグ愛
和歌山県立医科大学
附属病院
小児育成
医療支援室
琴の浦リハビリテーションセンター
附属病院　若竹園
県子ども女性障害者相談センター
JR和歌山駅
角谷リハビリテーション病院
生協こども診療所
きっず☆なごみ
北保健センター
盲学校
紀伊コスモス
支援学校
こじか園
和歌山つくし
医療福祉センター
フレンズ
おもちゃばこ
ひまわり園
県教育センター　学びの丘
県障害児(者)高齢者歯科口腔センター
県国際交流センター
県精神保健福祉センター
ハミング
木のおうち
(信愛女子短期大学)
紀北支援学校